

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成29年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
17	総務局	広報課	継続	ロケーション撮影支援助成	ソフト	10,000		-	46
計						859,964			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成28年度当初予算額 761,455

3 中枢都市 ②MICEの推進等による交流人口の拡大

日本平公園整備事業 都市局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	324,100	155,700	156,600		11,800
前年度予算額	312,500	120,940	154,400		37,160

目的	名勝日本平の特性を活かし、市民のみならず観光や国際交流など幅広い活動の場を提供する本市のシンボル公園として、日本平公園の建設を行う。
----	--



事業概要	○実施期間	平成22年度～41年度
	○事業箇所	有度丘陵山頂部
	○平成29年度実施内容	
	1 山頂部展望回廊整備工事	240,000千円
	※静岡県と連携し、日本平山頂展望施設及びその周辺の整備を実施	
2 山頂部展望施設周辺整備	84,100千円	
	・造園工事	
	・アクセス道路交差点改良設計	ほか
	(ラウンドアバウト交差点に改良)	
○整備効果		
	・国内外から観光交流人口の増加による地域活性化	
	・本市の魅力を広く全国に情報発信	
	・潤いと魅力ある公園空間の創出	

日本平公園整備事業 山頂展望施設整備イメージ



3 中枢都市 ②MICEの推進等による交流人口の拡大

【拡充】

全国大会等開催費助成

観光交流文化局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	26,975				26,975
前年度予算額	16,975				16,975

目的	全国大会・会議や国際会議等を誘致することにより、本市の地域経済活性化、国際的なプレゼンスの向上、国際感覚を有する人材の育成等を図る。
----	--



事業概要	<p>「世界に輝く静岡」の実現に向け、全国会議や大会、国際会議等の誘致を推進することを目的として、全国大会等開催補助金の拡充を図る。</p> <p>○補助事業 市内において開催される大会・会議等であり、以下の条件を満たすもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブロック：4県以上25県未満から参加者があり、市内に100人泊以上 ・全 国：25県以上から参加者があり、市内に100人泊以上 ・国 際：3か国以上から、全体で50名以上、海外から20名以上の参加者 <p>○補助額 拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単価：500円／泊 → ブロック：500円／泊 全 国：1,000円／泊 国 際：1,000円／泊 ・上限額：100万円 → ブロック：100万円 全 国：300万円 国 際：300万円
------	---



第18回日中韓三カ国環境大臣会合



第18回日本・スペイン・シンポジウム in 静岡

3 中枢都市 ②MICEの推進等による交流人口の拡大

【拡充】

オリンピック・パラリンピック合宿等誘致事業 観光交流文化局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	32,812				32,812
前年度予算額	6,373				6,373

目的	2020年東京オリンピック・パラリンピックの合宿誘致等を契機として、市民のスポーツに対する関心を喚起するとともに、ジュニア育成機会を創出し、併せて本市の魅力の世界に向けて発信する。
----	--



事業概要	1 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴う 事前合宿誘致 拡充 29,112千円 ○国内プロモーションの実施 ○現地プロモーションの実施 ○合宿誘致における各国キーパーソンの招へい ○誘致用ホームページ等の更新
	2 2020年東京オリンピック・パラリンピックの 機運醸成 新規 3,700千円 ○オリンピック・パラリンピアンとの交流

【事前合宿受け入れ候補施設】



清水ナショナルトレーニングセンター



中央体育館

3 中枢都市 ②MICEの推進等による交流人口の拡大

【拡充】

ラグビーワールドカップ合宿等誘致事業

観光交流文化局

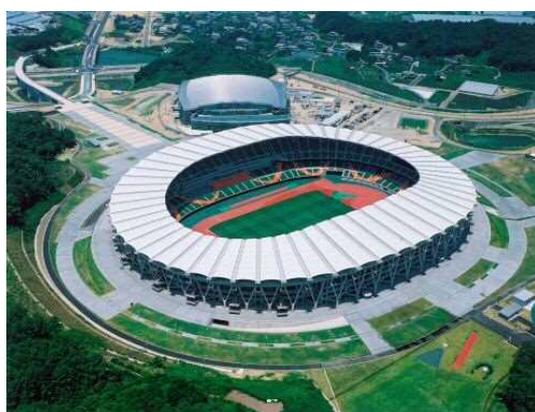
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	7,886				7,886
前年度予算額	5,139				5,139

目的	ラグビーワールドカップ2019静岡県開催決定を契機として、スポーツの振興と地域の活性化、関連イベントの開催による市民のラグビー熱、認知度の向上を図る。また、合宿等誘致活動を通して、本市の魅力を国内外に発信する。
----	---



事業概要	<ol style="list-style-type: none"> ラグビーワールドカップ2019 静岡県開催推進委員会関係事業 5,145千円 ・機運醸成イベントの開催、大会誘致 日本代表戦または海外強豪チーム等の招へい 2019大会開催2年前イベントの開催 ・レガシー（タグラグビーの普及促進） 競技者増加に向けたタグラグビー教室の開催 静岡市ラグビー機運醸成活動 1,870千円 ・タグラグビー教室の開催 初心者向けタグラグビー教室を各区ごとに開催 ・ラグビー啓発ブースの出展 市内イベントや各区民体育大会等にて設置 ラグビーワールドカップ2019 静岡市キャンプ誘致PR活動 新規 871千円
------	---



静岡県開催会場
小笠山総合運動公園エコパスタジアム



ラグビーワールドカップ2015
パブリックビューイング静岡市会場

3 中枢都市 ②MICEの推進等による交流人口の拡大

【拡充】

静岡地域連携DMO推進事業

観光交流文化局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	55,000				55,000
前年度予算額	30,000				30,000

目的	静岡県中部・志太榛原地域連携DMOの形成について、多様な関係者との連携体制の構築及び広域観光の推進による地域経済の活性化を円滑に推進する。
----	---

事業概要	<p>静岡県中部・志太榛原地域（静岡市・島田市・焼津市・藤枝市・牧之原市・吉田町・川根本町）の枠組みで、（公財）静岡観光コンベンション協会を中心に次の事業を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> マネジメント <ul style="list-style-type: none"> DMO推進体制構築事業 拡充 DMO意識醸成事業 マーケティング <ul style="list-style-type: none"> マーケティング人材確保 定点観測調査 戦略マーケティング（商品開発） 拡充 プロモーション <ul style="list-style-type: none"> 情報発信事業 拡充 <p>※DMO（Destination Management/Marketing Organization） 地域の多様な関係者との連携と各種データに基づく戦略的な観光地域づくりを行う舵取り役</p> <p>※中部5市2町広域連携事業</p>
------	--



3 中枢都市 ②MICEの推進等による交流人口の拡大

【拡充】

清水エスパルス応援事業

観光交流文化局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	14,500				14,500
前年度予算額	5,000				5,000

目的	本市唯一のプロのホームタウンチームであり、1年でJ1に復帰を果たした清水エスパルスを応援するため、一人でも多くの皆さんにスタジアムへ足を運んでもらえるよう、気運を醸成する。
----	--



事業概要	<p>1 清水エスパルスアウェイ戦 パブリックビューイングの実施 新規 10,000千円 (Jリーグ・エスパルスと調整中) アウェイで行われる試合を市内で観戦できる場を作ることにより、清水エスパルスの応援気運を高める。 ○開催予定地 東静岡駅北口広場、清水駅東口広場 ○回数 5回程度</p> <p>2 市行事・イベント・キャンペーンへの選手等派遣 4,000千円 本市の各種行事・イベントへ選手等を派遣。市関係各課と連携し、本市のホームタウンチームとしての醸成を高める。</p> <p>3 応援横断幕の作成・応援ユニフォーム等グッズ活用 500千円 ○エスパルスの応援横断幕を作成し、静岡庁舎等へ設置する。 ○エスパルスを市内外にPRするため、エスパルスグッズを購入し、出前ホームタウンコーナーを設置するとともに、市関係各課、東京事務所等への貸出しにより活用する。 ○出前ホームタウンコーナー設置場所 ・生涯学習交流館、 ・生涯学習センター ほか</p>
------	---



清水エスパルスアウェイ戦 パブリックビューイング



イベントへの選手等派遣

応援横断幕

3 中枢都市 ②MICEの推進等による交流人口の拡大

【拡充】

野球を活かしたまちづくり推進事業

観光交流文化局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	7,554				7,554
前年度予算額	12,723				12,723

目的	<p>国においても成長分野として注目されているスポーツビジネスの一つである「プロ野球」を核としてMICEの推進を図るとともに、広く市民が野球に親しむことにより、市民野球熱の醸成を図ることを目的とする。</p>
----	--



事業概要	<p>1 市民野球熱の醸成を図るための事業 新規 4,000千円 ○プロ野球フレッシュオールスターゲーム2017の開催 ・日時 平成29年7月13日(木) 18時～予定 ※翌日予備日 ・場所 草薙球場 ・概要 若手プロ野球選手最大の祭典として人気の事業 ・出場資格 ※日本野球機構(NPB)公式HPより抜粋 ・新人選手はすべて出場ができる ・支配下選手登録及び育成選手登録期間が今シーズンを含み5シーズン以内で、本年度のイースタン、ウエスタン各リーグの公式戦に出場した選手 など</p> <p>2 野球関係団体等との関係構築 3,554千円 ○NPBや野球連盟等の野球関係団体との関係づくり ○他地域との連携</p>
------	---



開会式で整列する両チーム
(フレッシュオールスターゲーム2016)
(C)2016 Nippon Professional Baseball



最優秀選手/優秀選手
(フレッシュオールスターゲーム2016)
(C)2016 Nippon Professional Baseball

3 中枢都市 ② MICEの推進等による交流人口の拡大

【新規】

無料Wi-Fi整備及び情報発信ツール整備事業費助成

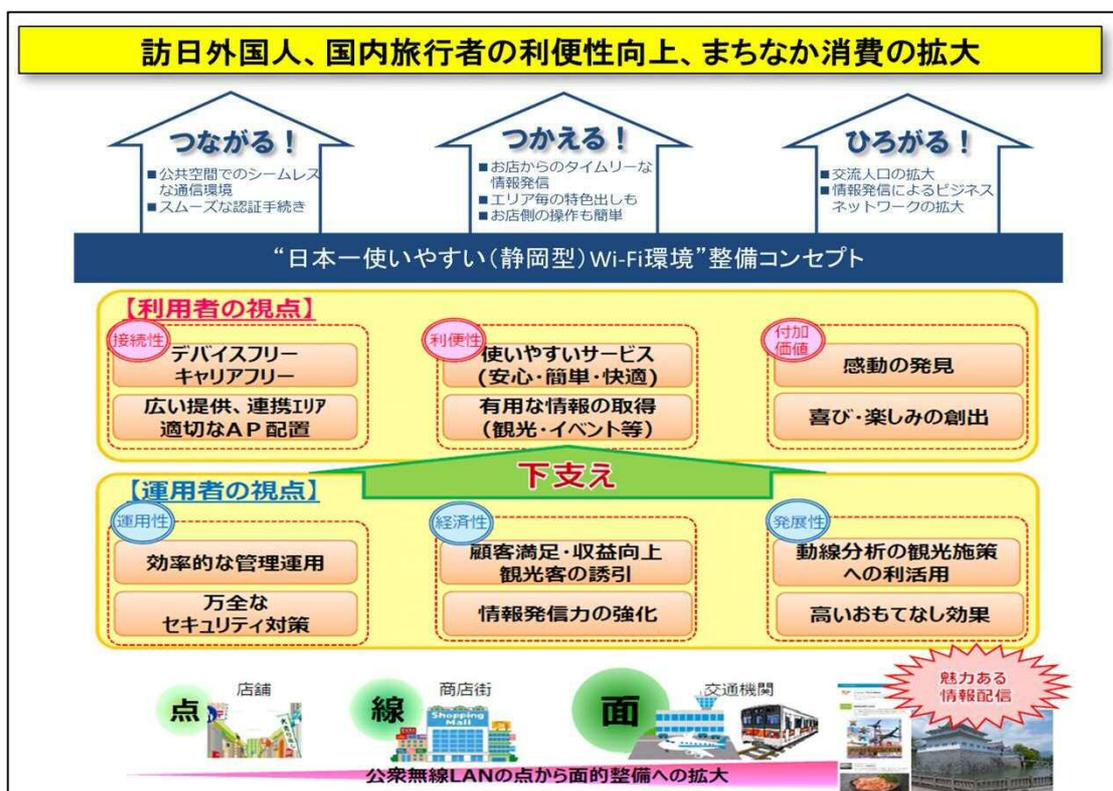
経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	29,600				29,600
前年度予算額					

目的	公共空間でのシームレスなWi-Fi通信環境により訪日外国人・国内旅行者の利便性の向上及び情報発信ツールを整備することでまちなか消費の拡大を図る。
----	--

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 静岡地区中心市街地におけるWi-Fi環境の面的整備及び店舗情報などの情報発信ソフトの開発等を実施する「I Loveしずおか協議会」への助成 ○ 事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ① ハード（アクセスポイント）整備 中心市街地（商店街・公共空間・交通結節点等）への面的整備 ② ソフト（コンテンツ）整備 情報発信力向上のためのツール（ポータルサイト）整備 コンテンツ内容：市内飲食店・小売店等の個店情報、イベント・観光・行政情報
------	--



3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

3 中枢都市	世界中から多くの人が集まる求心力の高いまちづくりの推進
3-③	戦略産業への支援・育成

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成29年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
戦略産業への集中的な支援・育成									
1	経済局	産業振興課	拡充	海洋産業クラスター創造事業	ソフト	77,904	②海洋文化	106	86
2	環境局	環境創造課	拡充	★静岡型水素タウン促進事業	ソフト	9,966		170	67
3	経済局	清水港振興課	継続	清水港コンテナ航路誘致事業負担金	ソフト	50,000		—	91
4	経済局	産業振興課	拡充	戦略産業推進事業 (ロジスティクス産業立地促進事業)	ソフト	2,600		—	86
5	経済局	産業政策課	継続	健康・食品産業クラスター形成事業	ソフト	2,680		—	86
6	経済局	産業振興課	継続	ホビーのまち静岡推進事業	ソフト	70,155		—	87
7	経済局	産業振興課	継続	ホビーショー開催費助成	ソフト	11,000		—	87
8	経済局	産業振興課	継続	戦略産業推進事業 (ホビー産業育成支援事業)	ソフト	4,473		—	86
9	経済局	産業振興課	継続	★東静岡ホビーパークプロジェクト推進事業	ソフト	2,000	⑤「まちは劇場」	56	87
10	経済局	産業政策課	継続	★CCC(文化・クリエイティブ産業振興センター)管理運営事業	ソフト	79,881	⑤「まちは劇場」	76	85
11	経済局	産業政策課	継続	★世界にはばたくクリエイター支援事業費助成	ソフト	1,100	⑤「まちは劇場」	76	86
12	経済局	商業労政課	継続	★中心市街地活性化事業費助成 (外国人向けマチナカお買い物マップ作成)	ソフト	4,000		—	90
13	経済局	産業政策課	拡充	中小企業海外展開支援事業	ソフト	2,910		—	85
地域を支える企業への支援									
13	経済局	産業政策課	継続	中小企業融資制度等利子 及び信用保証料補給事業	ソフト	402,200		—	86
14	経済局	産業振興課	継続	中小企業事業高度化事業費助成	ソフト	40,000		—	88
15	経済局	商業労政課	拡充	★就活よろず支援体制強化事業	ソフト	36,605		85	89
16	経済局	産業振興課	継続	人材マッチング推進事業	ソフト	763		—	88
17	経済局	産業振興課	継続	大規模展示会出展等事業費助成	ソフト	9,200		—	87
18	経済局	産業振興課	継続	新商品等開発事業費助成	ソフト	6,150		—	87
19	経済局	産業政策課	継続	CSR活動表彰事業	ソフト	1,887		—	85
20	経済局	産業振興課	継続	中小事業者技術表彰事業	ソフト	615		—	86

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成29年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
企業立地の推進									
21	経済局	産業振興課	拡充	企業立地促進事業費助成	ソフト	492,000		107	87
22	経済局	産業振興課	拡充	企業立地用地検討調査事業	ソフト	23,200		108	86
23	経済局	産業振興課	拡充	都市型産業立地促進事業	ソフト	2,800		—	86
24	経済局	産業振興課	新規	本社機能移転・拡充推進事業	ソフト	2,714		—	86
大谷・小鹿地区のまちづくり推進									
25	都市局	新インターチェンジ 周辺整備課(大谷・ 東静岡周辺整備課)	継続	東名新インターチェンジ整備事業	ハード	1,221,731		109	103
26	都市局	新インターチェンジ 周辺整備課(大谷・ 東静岡周辺整備課)	拡充	大谷・小鹿地区まちづくり計画推進事業	ハード	224,700		110	103
産業に必要なアクセス道路の整備									
26	建設局	道路計画課	継続	★国道1号静岡バイパス整備促進事業	ハード	1,650,000		158	110
27	建設局	道路計画課	継続	★ICアクセス道路整備事業 (主)井川湖御幸線、(主)山脇大谷線、(主)清水 富士宮線)	ハード	1,140,000		158	110
28	建設局	道路計画課	継続	★地域高規格道路(静岡南北道路)調査検討事業	ソフト	8,100		—	110
その他									
29	経済局	産業政策課	新規	★アンテナショップ開設事業	ソフト	5,000		111	85
計						5,586,334			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成28年度当初予算額 6,915,023



3 中枢都市 ③戦略産業への支援・育成

【拡充】

海洋産業クラスター創造事業

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	77,904	38,418			39,486
前年度予算額	1,068				1,068

目的	本市独自の駿河湾という「海洋資源」、大学等研究機関の「知見」、清水港とともに発展してきた造船をはじめとする機械金属製造業や水産加工業等の関連産業の「技術」を組み合わせることにより、海洋関連産業における新事業創出・事業高度化を推進するとともに、研究機能の強化・集積を図る。
----	---

事業概要	<p>推進主体である「静岡市海洋産業クラスター協議会」が実施する各種事業に対し、負担金を支出する。</p> <p>○主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信事業（ウェブサイトの運営、シンポジウムの開催等） ・産学マッチング支援事業（アドバイザーの設置 1名→2名） 拡充 ・人材育成事業（商品開発人材向けセミナーの開催等） ・事業化研究事業 （事業化を目指した産学共同研究数 2件→7件程度） 拡充
------	--



3 中枢都市 ③ 戦略産業への支援・育成

【拡充】

企業立地促進事業費助成

経済局

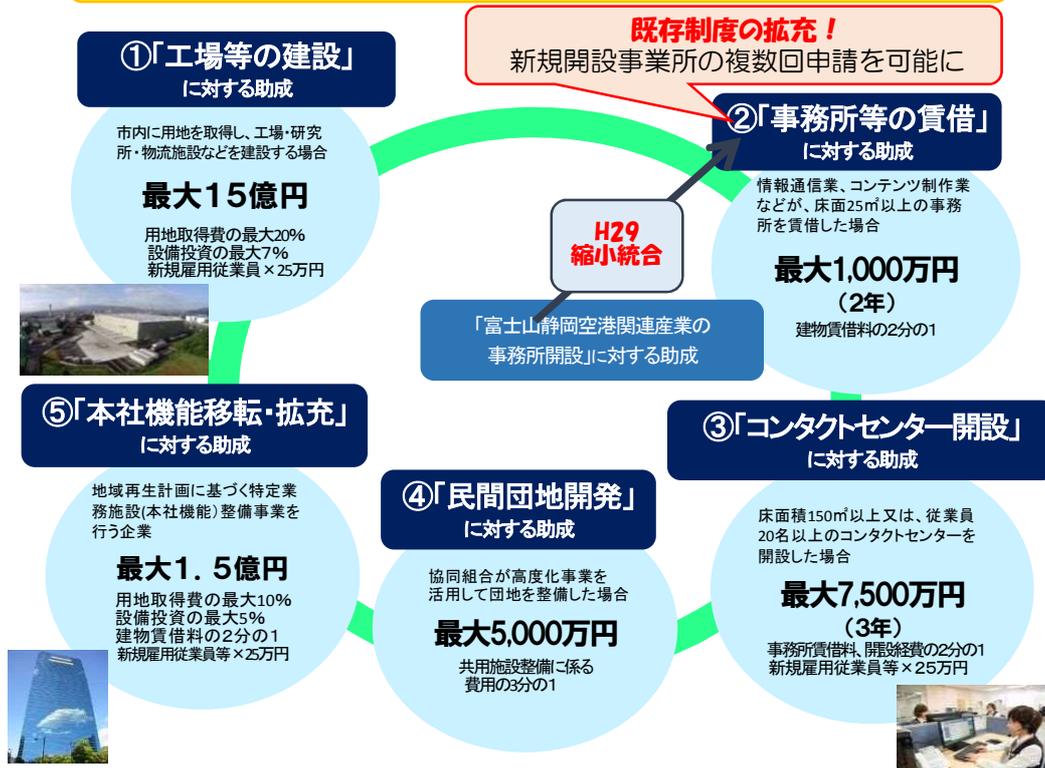
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	492,000				492,000
前年度予算額	492,000				492,000

目的	市内への企業の進出及び市内における企業の定着を促進し、地域産業の高度化、活性化及び雇用機会の拡大を図る。
----	--

事業概要	<p>工場等の設置や事務所等の賃借を行った企業等に対する助成</p> <p>①工場等設置事業 (補助対象：用地取得費、設備投資費、新規雇用)</p> <p>②事務所等賃借事業 拡充 (補助対象：建物賃借料) ※事業拡大による新規開設に限り、複数回申請を可能に 富士山静岡空港関連産業開設事業 廃止 (※事務所賃借事業へ縮小統合)</p> <p>③コンタクトセンター開設事業 (補助対象：建物賃借料、事務所開設経費、新規雇用等)</p> <p>④民間団地開発促進事業 (補助対象：共用施設整備に係る費用)</p> <p>⑤本社機能移転・拡充事業 (補助対象：用地取得費、設備投資費、建物賃借料、新規雇用等)</p>
------	---

充実した助成制度で、市外企業の新規進出及び市内企業の業務拡大による定着を促進します！



3 中枢都市 ③戦略産業への支援・育成

【拡充】

企業立地用地検討調査事業

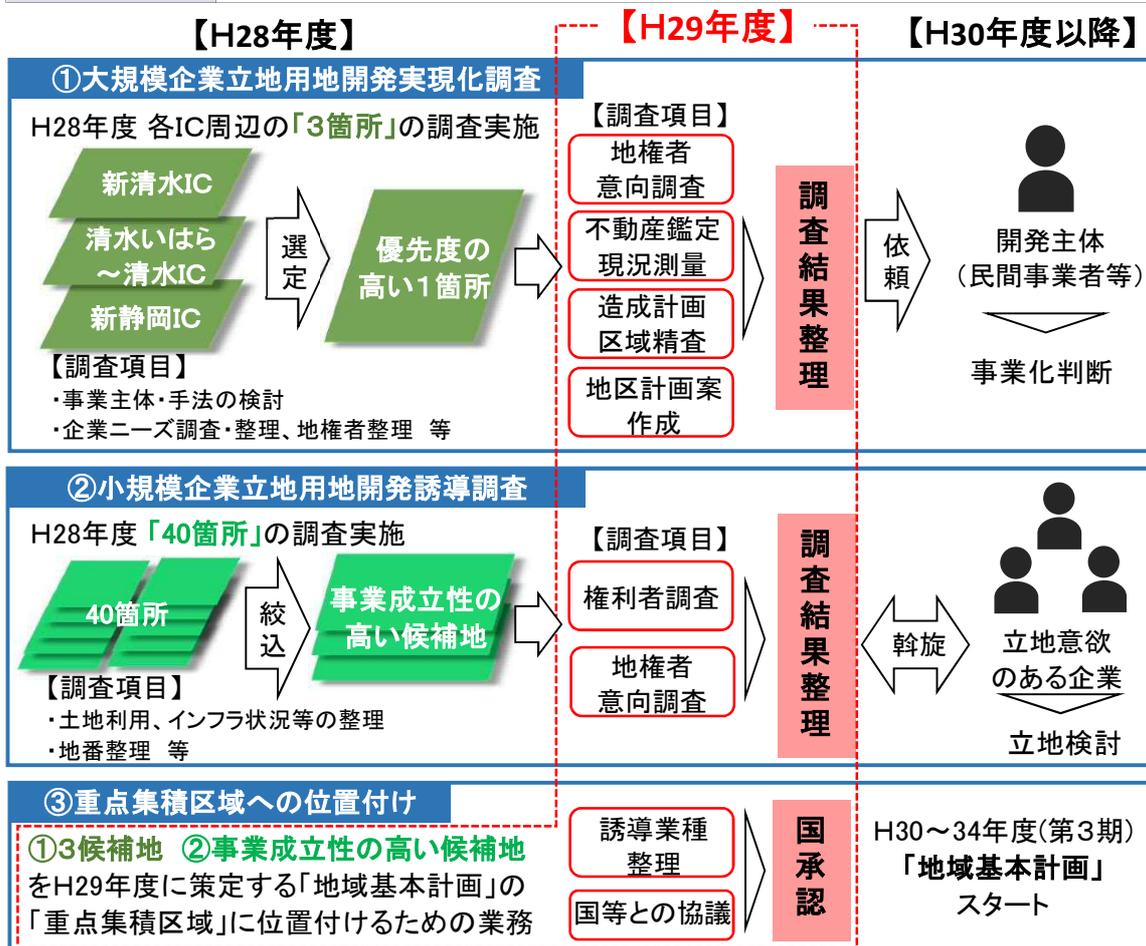
経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	23,200				23,200
前年度予算額	14,100				14,100

目的	企業立地用地不足の解消を図るため、開発適地の発掘と開発実現化に向けた検討を行う。
----	--

事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 大規模企業立地用地開発実現化調査 14,000千円 高速IC周辺の5ha以上の大規模な開発候補地1箇所を絞り込み、開発主体に事業化判断を働きかけていくための、地権者意向調査や現況測量等の実施 小規模企業立地用地開発誘導調査 4,000千円 主に市街化調整区域内の1ha以上の小規模な開発候補地について、立地意欲のある企業に斡旋していくための、地権者調査等の実施 重点集積区域への位置付け 新規 5,200千円 開発候補地を「静岡市地域基本計画」の「重点集積区域」に位置付けるための、誘導業種整理や国協議資料の作成
------	---



3 中枢都市 ③戦略産業への支援・育成

東名新インターチェンジ整備事業

都市局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (5.5/10)	市債	その他	
当初予算額	1,221,731	633,540	523,900	50,000	14,291
前年度予算額	1,264,176	646,979	476,400	9,808	130,989

目的	<p>東名静岡インターチェンジの利用交通量が飽和状態にあり、中心市街地、東静岡地区、日本平等の観光拠点への移動の円滑性が損なわれている。大谷・小鹿地区に新インターチェンジを開設することにより、交通を分散し、各地区へのアクセス性の向上、広域道路ネットワーク強化により地域活性化の実現を目的とする。</p>
----	---

事業概要	<p>東名新インターチェンジ及びアクセス道路を含む周辺道路整備</p> <p>○平成29年度事業内容</p> <p>1 新インターチェンジ本体整備 635,000千円 ※中日本高速道路株式会社工事委託</p> <p>2 アクセス道路等整備 586,731千円 ・(都) 広野大谷線拡幅工事、橋梁工事 ・道路案内標識整備工事 ほか</p>
------	--



3 中枢都市 ③戦略産業への支援・育成

【拡充】

大谷・小鹿地区まちづくり計画推進事業

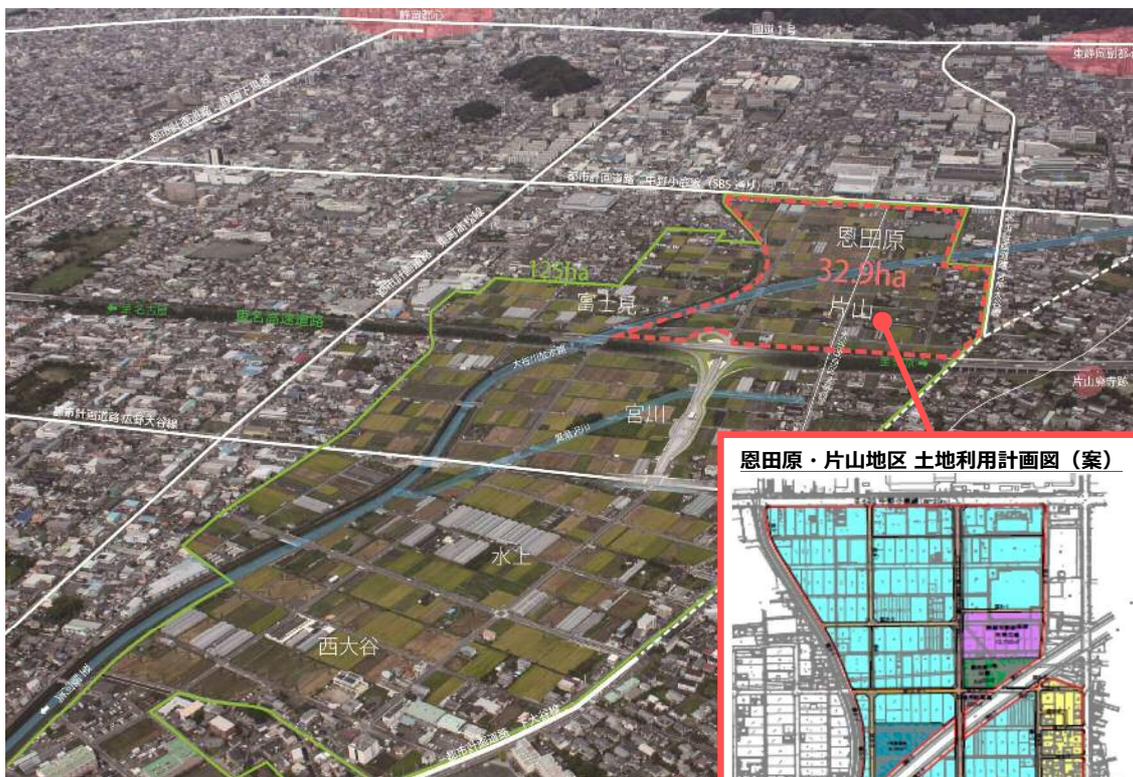
都市局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (5.5/10)	市債	その他	
当初予算額	224,700	105,160	82,400		37,140
前年度予算額	110,000	33,333			76,667

目的	土地区画整理事業の推進などにより、大谷・小鹿地区まちづくりグランドデザイン「活発に交流し、価値を創り合う創造型産業のまち」を実現する
----	--

事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 仮称恩田原・片山地区土地区画整理事業助成 新規 207,200千円 ・区画整理事業実施のための測量、実施設計、換地設計ほか まちづくりの事業実現に向けた検討調査 17,500千円 ・宮川地区などにおける土地利用計画、事業誘導方策策定、事業プロモーションほか
------	--



※本土地利用計画図は暫定のものであり、
今後の関係機関協議等によって変更します

3 中枢都市 ③戦略産業への支援・育成

【新規】

アンテナショップ開設事業

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	5,000				5,000
前年度予算額					

目的	中枢都市連携事業の一つである、首都圏での情報発信基地となるアンテナショップ開設に向け、出店予定地等を調査検討する。
----	---



事業概要	<p>○アンテナショップ出店調査事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出店候補地の調査 ・店舗概略案 ・出店用地の交通量調査 <p>(期待される効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンテナショップ出店予定地の選定 ・候補地における店舗イメージ案の作成 <p>※中部5市2町広域連携事業</p>
------	---



長野県アンテナショップ(銀座)



宮城県アンテナショップ(池袋)

健康都市

<プロジェクトの目標>

子どもから高齢者まで、
一生涯を通じ、住み慣れた地域
で健康的に長生きできる
まちづくりの推進



<成果目標>

「子育てしやすいまち」だと思う市民の割合(市民意識調査)

そう思う 53%(H26) → 67%(H34)

「障がい者や高齢者にやさしいまち」だと思っている市民の割合(市民意識調査)

そう思う 42%(H27) → 70%(H34)

①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築

保健福祉長寿局、市民局、観光交流文化局
子ども未来局、経済局、都市局

実現すべき将来像

- ライフステージに合わせた市民が主体の健康づくり事業の推進と、それを支援する保健と医療体制の充実
- 超高齢社会を見据えた人材の養成や生きがいの創出

課題と対応策

人生の最期まで自分らしく「自宅ですっと」暮らせるよう、支援体制を整備するため、「静岡型地域包括ケアシステムの構築」を推進するとともに、健康寿命75歳を目指し、健康づくり、介護予防といった「健康寿命の延伸」に向けた取組を推進する。

平成29年度の取組

○「自宅ですっと」プロジェクトによる「静岡型地域包括ケアシステムの構築」及び「健康寿命の延伸」に向けた取組を推進する。

・「自宅ですっと」在宅医療・介護連携推進事業において、対象地区の拡大、追加を図るとともに、市民への情報発信の強化、かかりつけ医の普及促進などにより、地域にあった在宅医療・介護の連携体制を構築。

・認知症の方を支援に繋げる取組(初期集中支援)の充実、認知症カフェの普及、認知症高齢者を見守る仕組みづくり、認知症に係る医療や地域支援の体制整備などにより、認知症の方やその家族への支援を充実。

・新しい介護予防・日常生活支援総合事業への移行、在宅医療・介護連携の推進、認知症地域支援体制の充実等のため、地域包括支援センターの運営及び機能強化、生活支援コーディネーターの配置など地域支援体制を整備。

・しずおか「カラダにeat75」事業、健康度見える化事業「フレイルチェック」モデル事業等により健康づくり、介護予防を推進。

地域包括ケアシステムの構築

健康寿命の延伸



「自宅ですっと」在宅医療・
介護連携推進事業
(保健福祉長寿局)
【3,006千円】



静岡型地域包括ケア
システム情報発信事業
(保健福祉長寿局)
【7,060千円】



健康度見える化事業
(保健福祉長寿局)
【8,225千円】



認知症初期集中支援推
進事業(保健福祉長寿局)
【10,823千円】



地域包括支援センター
運営事業(保健福祉長寿局)
【827,164千円】



「フレイルチェック」
モデル事業(保健福
祉長寿局)
【1,526千円】

②静岡型子ども・子育て支援の推進

子ども未来局、市民局、保健福祉長寿局
経済局、教育局

実現すべき将来像

- 子ども本位の視点に立ち、すべての子どもが健やかに成長することができるように社会全体で支えていくまちの実現
- 人とのつながりを大切にし、すすんで社会に参画する子ども・若者を育むまちの実現

課題と対応策

核家族化の進行やライフスタイルの変化により、子ども・若者とその家族を取り巻く環境が大きく変化している。そこで、平成29年度は、このような環境変化に対応し、子どもを産み育てやすいまちを実現するため、乳幼児の教育・保育及び放課後児童クラブの待機児童解消に向けた施設の集中整備をはじめ、結婚・妊娠・出産から乳幼児期・学童期・青年期まで「切れ目のない支援」の更なる充実に取り組む。

平成29年度の取組

「子ども・子育て支援プラン」の着実な推進に加え、結婚・妊娠・出産から乳幼児期・学童期・青年期までの「切れ目のない支援」のさらなる充実を目指し、教育力の向上、子どもの貧困対策、若者支援等の取組を拡充する。

○平成30年度の年間を通じての待機児童解消に向け、認定こども園等の集中的整備を実施。

○子どもの貧困対策では、ひとり親家庭の生活・学習支援の拡充、スクールソーシャルワーカーの増員を実施するとともに、更なる取組のための実態調査を実施。

○静岡型小中一貫教育の実践研究(4グループ)に向けた準備を実施。

幼児期の教育・保育



幼児期の教育・保育の施設整備
(子ども未来局)【3,318,157千円】

結婚・妊娠・出産支援



しずおかエンジェルプロジェクト推進事業
(子ども未来局)【6,341千円】
産後ケア事業/ママ7アデイサービス事業
(子ども未来局)【12,215千円】

若者支援



ひきこもり対策推進事業
(子ども未来局)【20,813千円】

放課後子ども対策



放課後児童クラブの整備・運営
(子ども未来局)【927,045千円】
放課後子ども教室推進事業
(教育局)【56,454千円】

教育力の向上



小中一貫教育準備経費
(教育局)【5,310千円】

子どもの貧困対策



子どもの貧困対策の推進
(学習・生活の支援、自立の支援、子どもの貧困実態調査)
(子ども未来局)【61,288千円】

③健康都市の実現に向けた基盤整備

都市局、観光交流文化局、建設局

実現すべき将来像

- 中心市街地での回遊性の向上と自転車の利用環境の改善やルール・マナーの向上を図ることにより、「自転車を利用しやすいまち」と「歩いて楽しいまち」の実現を推進
- 楽しく歩いたり自転車に乗ることで「活動量の増加」や「気分のリフレッシュ」につながり、健康に過ごすことができるまち

課題と対応策

自転車を利用しやすいまち、歩いて楽しいまちの両政策とも着実に進んでいるが、民間との連携という課題がある。そこで、平成29年度は自転車サポーター認定に向けた取組や地域主体による空間活用の運営体制の検討、桜植栽助成金制度要綱を策定・施行、桜の管理制度の検討に取り組む。

平成29年度の取組

○自転車を利用しやすいまちの実現に向け、平成29年度は、自転車利用の推進を継続するため、自転車サポーター認定に向けた取組やまちなか駐輪環境改善、自転車専用ウェブサイトの強化などを実施するとともに、自転車走行空間の整備に係る詳細設計及び工事を実施する。

○歩いて楽しいまちづくりの実現に向けては、平成29年度は、駿府城公園周辺において、追手町音羽町線の賑わい空間創出に向けた設計を実施するとともに、地域主体による空間活用の運営体制の検討を行う。

また、駿府城公園周辺の市有地以外の桜の植栽を促進するため、桜植栽に対する支援制度の策定を目指すとともに、桜の名所としての魅力の向上や維持のため、桜の演出や市民との協働による管理制度を検討する。

自転車を利用しやすいまち



交通安全施設整備事業(自転車走行空間ネットワーク整備事業)
(建設局)【237,000千円】

歩いて楽しいまち



追手町音羽町線等にぎわい空間創出事業
(都市局)【20,000千円】



自転車利用計画推進事業
(都市局)【7,700千円】



駿府城公園「桜の名所」づくり事業【再掲】
(都市局)【20,000千円】

3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

4 健康都市	市民が住み慣れた地域で暮らし続けられるまちづくりの推進
4-①	健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築(「自宅ですっと」プロジェクト)

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成29年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
地域包括ケアシステムの構築(在宅医療・介護の推進)									
1	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	拡充	「自宅ですっと」在宅医療・介護連携推進事業	ソフト	3,006	④「健康長寿のまち」	116	142
2	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	拡充	医療・介護・福祉スーパーバイザー人材配置事業	ソフト	13,000		-	142
3	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	拡充	在宅医療・介護連携推進事業 (協議会の運営、研修会の実施等)	ソフト	8,223		-	142
4	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	新規	かかりつけ医普及促進事業	ソフト	1,071		-	142
地域包括ケアシステムの構築(情報発信・地域支援体制の整備)									
5	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	拡充	地域包括支援センター運営事業	ソフト	827,164	④「健康長寿のまち」	117	142
6	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	拡充	生活支援体制整備事業	ソフト	91,159	④「健康長寿のまち」	118	142
7	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	新規	静岡型地域包括ケアシステム情報発信事業	ソフト	7,060		119	142
地域包括ケアシステムの構築(社会参加・介護予防の推進)									
8	保健福祉長寿局	福祉総務課	継続	生涯活躍のまち静岡(CCRC)推進事業	ソフト	8,000	④「健康長寿のまち」	120	69
9	保健福祉長寿局	介護保険課	継続	元気いきいき！シニアサポーター事業	ソフト	63,389	④「健康長寿のまち」	121	142
10	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	拡充	S型デイサービス事業	ソフト	71,361	④「健康長寿のまち」	122	142
11	保健福祉長寿局	地域リハビリテー ション推進センター	拡充	「健康寿命世界一」市民チャレンジ事業	ソフト	3,399	④「健康長寿のまち」	123	142
12	保健福祉長寿局	高齢者福祉課	新規	しずおかハッピーシニアライフ事業	ソフト	1,200		-	73
13	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	新規	「フレイルチェック」モデル事業	ソフト	1,526		-	142
地域包括ケアシステムの構築(認知症施策の推進)									
14	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	拡充	認知症初期集中支援推進事業	ソフト	10,823		-	142
15	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	拡充	認知症疾患医療センター運営事業	ソフト	10,506		-	69
16	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	継続	認知症カフェ普及促進事業	ソフト	2,153		-	142
17	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	継続	認知症地域支援推進員設置事業	ソフト	1,915		-	142
18	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	継続	認知症ケア向上推進事業 (研修会の実施等)	ソフト	1,419		-	142
19	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	拡充	認知症高齢者見守りシステム事業	ソフト	1,273		-	142

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成29年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
20	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	拡充	認知症サポート医集中養成事業	ソフト	814		—	69
地域包括ケアシステムの構築(住まい)									
21	都市局	住宅政策課	継続	高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業	ソフト	113,325		—	108
健康寿命の延伸									
22	保健福祉長寿局	保険年金管理課	新規	健康度見える化事業	ソフト	8,225	④「健康長寿のまち」	124	134
23	保健福祉長寿局	健康づくり推進課	新規	しずおか「カラダにeat75」事業	ソフト	3,513	④「健康長寿のまち」	125	70
24	保健福祉長寿局	保険年金管理課	継続	宿泊型糖尿病予防教室	ソフト	3,046		—	134
25	保健福祉長寿局	保健予防課	継続	予防接種モバイルサービス事業	ソフト	2,333		—	78
26	保健福祉長寿局	健康づくり推進課	継続	元気静岡マイレージ事業	ソフト	820		—	70
その他									
27	保健福祉長寿局	健康づくり推進課	拡充	がん検診事業	ソフト	825,037		—	70
28	保健福祉長寿局	精神保健福祉課	継続	★精神障害者地域移行支援事業	ソフト	15,021		—	79
計						2,099,781			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成28年度当初予算額 1,653,802

4 健康都市 ①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築 **【拡充】**

「自宅ですっと」在宅医療・介護連携推進事業 保健福祉長寿局

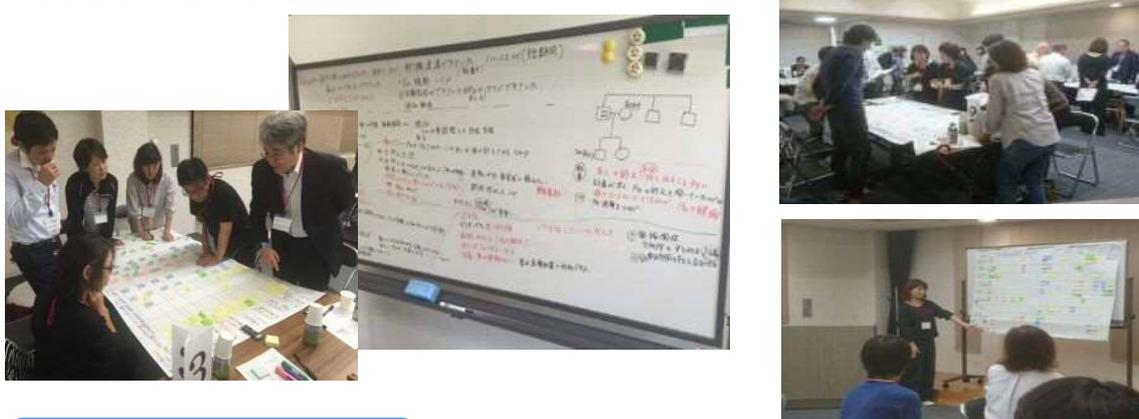
(千円)

	事業費	特定財源			一般会計繰入金
		国・県支出金 (国39.0%、県19.5%)	市債	その他	
当初予算額	3,006	1,758		662	586
前年度予算額	736	430		162	144

目的	身近な地域ごとに医療・介護の専門職が連携する体制をつくり、各地区での切れ目のない在宅医療・介護の支援体制を確立する。
----	--

事業概要	<p>小学校区程度の地区で医療・介護の専門職や地域の方々が参画する「自宅ですっとミーティング」を実施。在宅医療・介護連携推進に係る共通認識の醸成と圏域ごとのチームづくりを推進。</p> <p>1 「自宅ですっと」在宅医療・介護の連携推進事業 拡充 「自宅ですっとミーティング」を他の圏域に拡大するとともに、新たなテーマを選定し、ミーティングにおいて検討 ※平成28年度はがん終末期の患者及び家族を支える在宅医療をテーマに、支援段階に応じた各職種の役割を表したフローチャートを作成。在宅医療・介護連携について住民に周知。</p>
------	--

▶自宅ですっとミーティング



H28モデル地区

区分	日常生活圏域	小圏域
a	城西	番町小
d	薬科	大川小
a	小鹿豊田	東源台小
c	長田	長田東小
b	港北 (興津川)	清水江尻小
a	港南	清水岡小
先進事例	飯田庵原十高部 [日常生活圏域]	

H29事業実施地区



*新規地区、検討テーマ等は、今後、在宅医療・介護連携協議会で検討。

4 健康都市 ①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築 **【拡充】**

地域包括支援センター運営事業

保健福祉長寿局

(千円)

	事業費	特定財源			一般会計 繰入金
		国・県支出金 (国39.0%、県19.5%)	市債	その他	
当初予算額	827,164	483,890		181,976	161,298
前年度予算額	532,715	311,638		117,199	103,878

目的	取組の要となる地域包括支援センターの体制を強化。新しい介護予防・日常生活支援総合事業の実施、医療・介護連携や認知症施策をはじめとする地域包括ケアシステム構築に向けたこれらの取組を推進する。
----	--



事業概要	<p>1 地域包括支援センターの運営 710,164千円</p> <p>2 地域包括支援センター機能強化 拡充 117,000千円</p> <p>・配置人員 117人⇒140人</p> <p>静岡型地域包括ケアシステムの構築に係る事業（新しい介護予防・日常生活支援総合事業の実施、在宅医療・介護の連携、認知症施策、地域の生活支援体制の整備）を強力に推進。</p> <p>市内24の地域包括支援センターのうち小規模センターを除く21のセンターに23人の専門職を追加配置。</p> <p>※地域包括支援センター</p> <p>各センターに、社会福祉士、保健師及び主任ケアマネジャーを配置。専門職のチームアプローチで高齢者にかかる様々な相談等に対応。</p> <p>(主な業務)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や家族からの介護や福祉等に関するワンストップ相談窓口（総合相談） ・高齢者への虐待や消費者被害への対応（権利擁護） ・地域での介護予防の取組への支援や介護予防に関する相談・アセスメント（介護予防） ・地域のケアマネジャーへの助言・支援
------	--



(地域包括支援センターの相談風景)



(地域のS型デイサービスにて)

4 健康都市 ①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築 【拡充】

生活支援体制整備事業

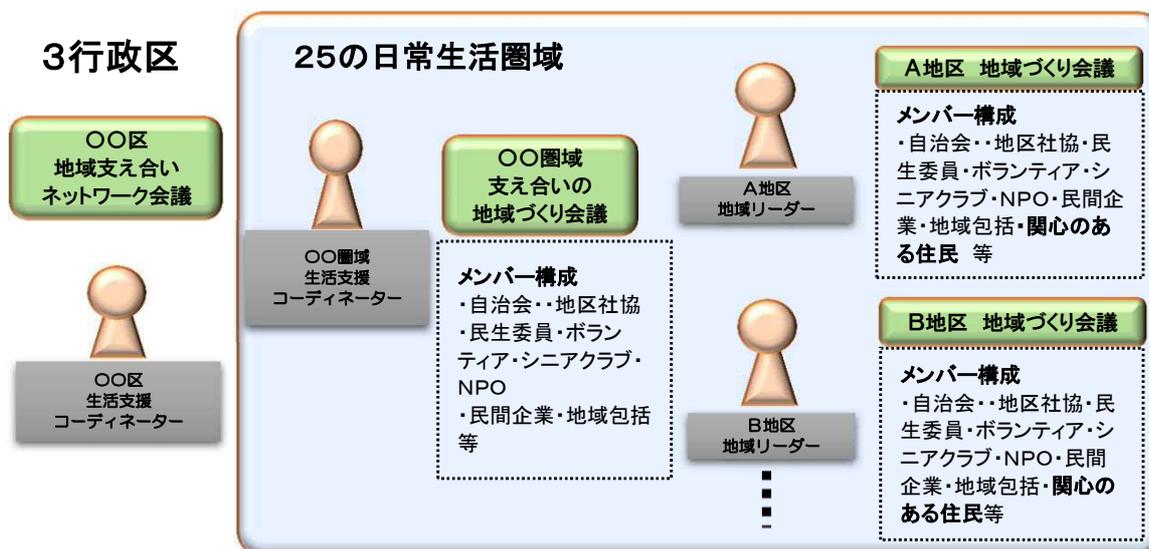
保健福祉長寿局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (国39.0%、県19.5%)	市債	その他	
当初予算額	91,159	53,328		20,055	17,776
前年度予算額	70,437	41,205		15,497	13,735

目的	高齢者の在宅生活を支えるため、ボランティア、NPO、社会福祉法人、地域住民等の多様な主体による重層的な生活支援サービスの提供体制の構築を支援する。
----	---

事業概要	<p>1 生活支援体制整備のための協議体活動経費 多様な主体間の情報共有及び連携・協働による資源開発等を推進することを目的に、協議体を設置する。</p> <p>2 生活支援コーディネーター設置活動経費 地域に不足するサービスの開発やサービスの担い手の養成など多様な役割を担う「生活支援コーディネーター」を、行政区及び日常生活圏域に配置する。 平成28年度：8圏域→平成29年度：18圏域 拡充</p>
------	---



※市全体を担当するコーディネーター、協議体も設置。

- 地域住民のボランティアによる見守りや生活支援といった地域での支え合い体制づくりのため、地域資源の把握、地域の関係者のネットワークづくり、支援ニーズと支援サービスとのマッチング等を役割とする「生活支援コーディネーター」を、3行政区及び25の日常生活圏域ごとに配置。
- また、地域の関係者によるネットワークをつくり、情報共有、連携・協働による取組を進めるため、3行政区に「(〇〇区)地域支え合いネットワーク会議」を、25の日常生活圏域ごとに「(〇〇圏域)支え合いの地域づくり会議」を設置。
- さらに、より身近な地区ごと(連合町内会・自治会、地区社協等の地区ごと)に、関心のある地域住民も参加した「(〇〇地区)地域づくり会議」を設けるとともに、各地区で生活支援コーディネーターと連携し、支え合い活動推進の中心となっておられる方を「地域リーダー」に選任。

4 健康都市 ①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築

【新規】

静岡型地域包括ケアシステム情報発信事業

保健福祉長寿局

(千円)

	事業費	特定財源			一般会計 繰入金
		国・県支出金 (国39.0%、県19.5%)	市債	その他	
当初予算額	7,060	4,130		1,553	1,377
前年度予算額					

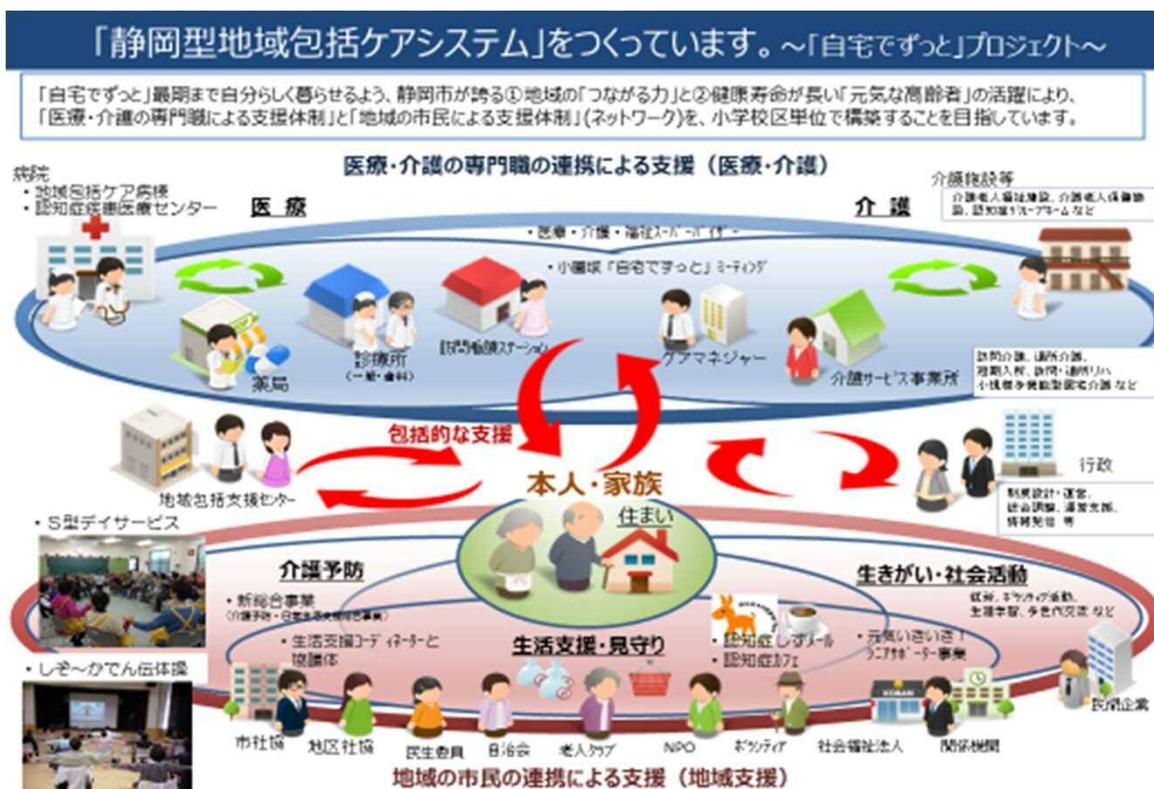
目的

「健康長寿のまちづくり」及び「静岡型地域包括ケアシステム」の構築のための取組について積極的に情報を発信し、市民理解の向上を図るとともに、市民が自宅で医療・介護を受けながら安心して最期まで暮らす選択を後押しする。

事業概要

「健康長寿のまちづくり」及び「静岡型地域包括ケアシステム」の構築の取組（「自宅でずっと」プロジェクト）について、周知・啓発を行うため、ウェブサイト、動画、パンフレット等を作成し、積極的な情報発信を実施。

1 専用ウェブサイトの作成	1,770千円
2 理解促進のための動画コンテンツの作成	3,780千円
3 「自宅でずっと」プロジェクトのパンフレットの作成	1,510千円



4 健康都市 ①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築

生涯活躍のまち静岡（CCRC）推進事業

保健福祉長寿局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	8,000	4,000			4,000
前年度予算額					

目的	本市の特性を活かした生涯活躍のまち静岡（CCRC）構想を推進し、移住・定住を促進するとともに、元々住むシニア世代も含め、就労、ボランティア、生涯学習など社会活動への参加機会を提供・促進することで、健康寿命の延伸と多世代・多様な市民が交流し支え合う「共生のまち」の実現を目指す。
----	--

生涯活躍のまち（CCRC）とは：高齢者が安心して健康で元気に暮らし続けることができ、多世代のための「担い手となる」ことを基本とする仕組みが整った住まい・コミュニティ。
 具体的には、アクティブシニアの居住機能及び地域交流拠点機能を備えるとともに、アクティブシニアの社会参加等の支援体制を整える。

- 1 「生涯活躍のまち静岡」を実現するための事業計画の作成
 行政機関のほか、地域の様々な関係者が参画する推進協議会を設置し、
 ①シニアの社会的活動への参加支援、 ②シニアに適した住宅の整備
 ③継続的なケアの提供体制の確保、 ④移住支援
 など「生涯活躍のまち静岡」において具体的に取り組むべき事項について協議する。
 これにより、多様な意見を適切に反映した事業計画を策定し事業を推進する。
- 2 生涯活躍のまちの形成を展開する地区
 - ①呉服町「おまち」地区
 （展開イメージ）地方都市のなかでも有数の利便性・活気と歴史を有する中心市街地「おまち」の都市機能の集積などを活かし、市内外からシニア層を呼び込む。
 - ②駿河「共生」地区〔駿河区役所周辺地区〕
 （展開イメージ）大学、子育て世代が多いといった周辺地域の特長を活かし、多様な地域資源と連携してシニア世代の社会参加のほか、子ども、子育て家庭や地域住民も含め、多世代、多様な人たちの交流を促進する。
 ※具体的な取組みは、協議会において検討。

事業概要

○ 生涯活躍のまち静岡構想 工程表

事業の区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
全体の流れ (計画策定等)	地域再生 計画策定	事業計画検討・ 事業準備	事業開始		
呉服町 「おまち」地区		協議会（呉服町）の運営			
		居住施設の整備（民間）		居住施設の運営（民間）	
		地域交流拠点の整備（民間）	しずおかシニアコンシェルジュ、お試し居住		
駿河 「共生」地区	居住施設 調査	協議会（駿河）の運営			
		居住施設の整備（民間）		居住施設の運営（民間）	
		地域交流拠点の整備 (南部図書館改修)	しずおかシニアコンシェルジュ		
		富士見エリア関連施設の整備 (民間)		富士見エリア関連施設の運営〔順次開設〕	

○呉服町「おまち」地区は、平成30年度に運営開始（地域交流拠点・お試し居住）。

○駿河「共生」地区は、平成30年度に運営開始（地域交流拠点等）。

地区内の富士見エリアを駿河区の子育て支援の中核地区として整備（29～31年度）し、シニア等のボランティア活動の場とする。

4 健康都市 ①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築

元気いきいき！シニアサポーター事業

保健福祉長寿局

(千円)

	事業費	特定財源			一般会計 繰入金
		国・県支出金 (国1/4、県1/8)	市債	その他	
当初予算額	63,389	23,461		32,004	7,924
前年度予算額	85,743	32,152		42,874	10,717

目的	シニア世代（65歳以上）の生きがいがづくり・仲間づくりを通じた「介護予防」や「孤立防止」を推進。住み慣れた地域でいつまでも元気で暮らせる“健康長寿世界一のまち”を目指す。
----	---

事業概要	65歳以上のシニアの皆さんが、介護施設やS型デイサービスなどでボランティア活動を行ったときに、活動した時間に応じてポイントが貯まり、本市の地場産品と交換できる事業。
------	--



平成28年度地場産品カタログ

いろいろなボランティア活動を通じて貯まったポイントは、56種類の地場産品から自由に交換することができます。

きわめた技の「伝統工芸品」をはじめ、お孫さんにも喜んでいただける「プラモデル」や、障がいのある方々が心を込めて手作りした「授産製品」、人気の高い「地酒」など、幅広い本市の地場産品を取り揃えまし



ボランティア活動の様子

いきいきと楽しく、S型デイサービスなどの運営ボランティアとして活動することで、仲間ができて孤立防止につながります。

きもちも充実した介護予防を通じて、さらなる健康寿命の延伸を図ります。

4 健康都市 ①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築

【拡充】

S型デイサービス事業

保健福祉長寿局

(千円)

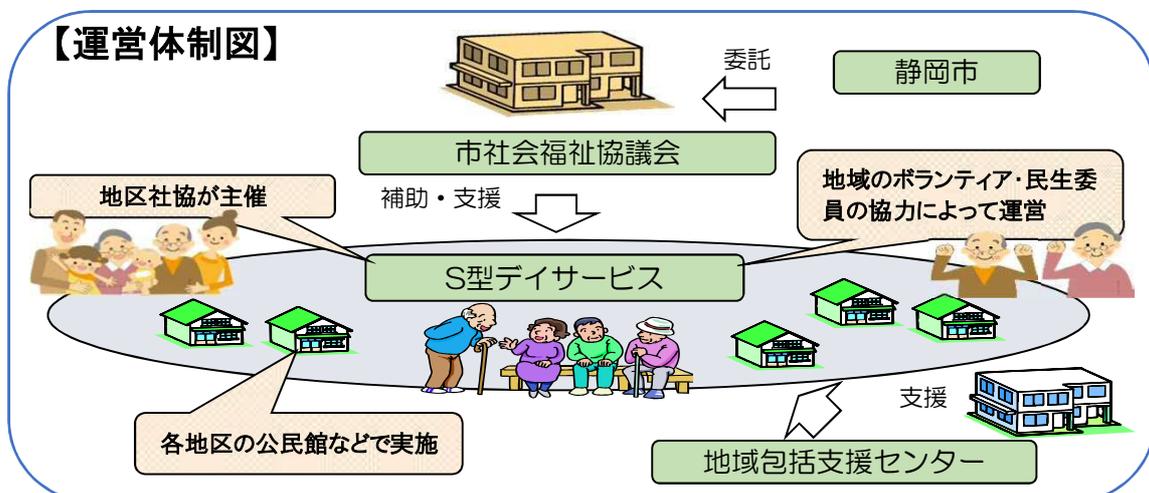
	事業費	特定財源			一般会計繰入金
		国・県支出金 (国1/4、県1/8)	市債	その他	
当初予算額	71,361	26,760		35,681	8,920
前年度予算額	69,552	26,082		34,776	8,694

目的 主に地域の高齢者のボランティアが中心となって、地域に住む高齢者が気軽に参加できる通いの場を提供し、参加者の介護予防、心身機能の維持向上を図るほか、生きがいの創出や地域のつながりを深める。

事業概要

S型デイサービス事業
 ○実施か所数を拡大 260か所→283か所(想定) **拡充**
 ○在宅の高齢者を対象に、身近な地域の公民館などで月2回のミニデイサービス事業を実施
 ○健康チェックや健康体操、「遊びリテーション」(遊びとリハビリを融合)、歌、会食などを実施

※各地域(主に小学校区域をベース)の地区社会福祉協議会(地区社協)が中心となり、地域のボランティア等によって運営されている点が特徴



4 健康都市 ①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築

【**拡充**】

「健康寿命世界一」市民チャレンジ事業

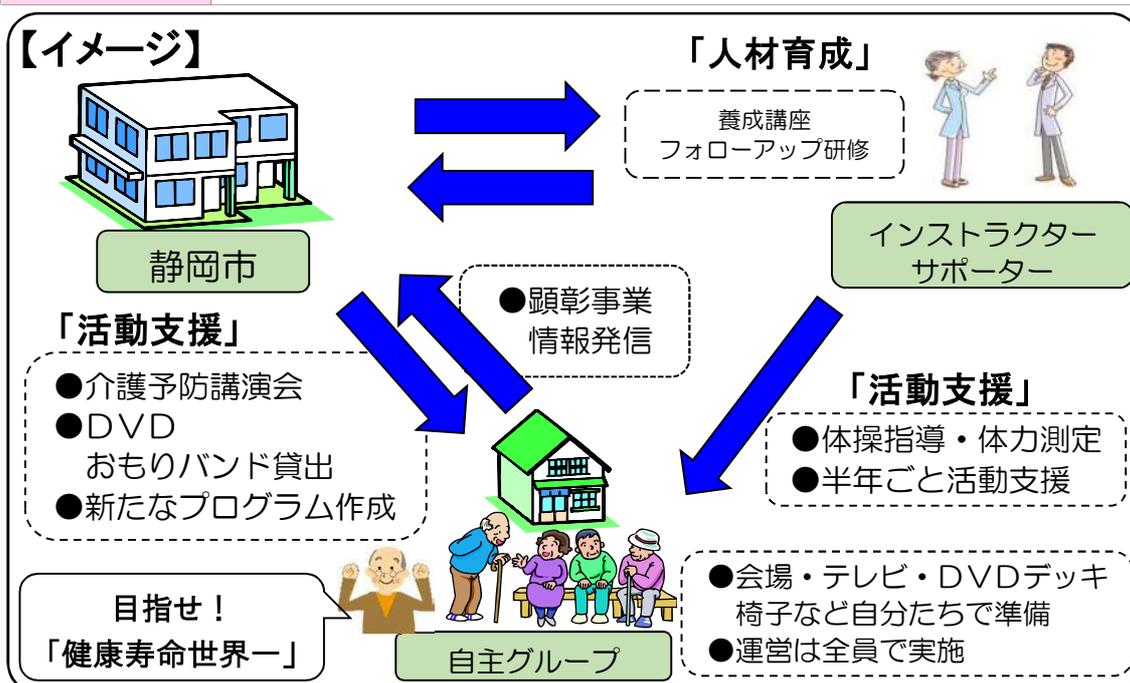
保健福祉長寿局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (国1/4、県1/8)	市債	その他	
当初予算額	3,399	1,258		1,716	425
前年度予算額	2,457	921		1,229	307

目的	地域住民による「しぞ〜かでん伝体操」への取組みをきっかけとして、市内各地域に誕生した自らの力で健康維持を目指している市民自主グループ等の介護予防活動の継続と更なる活動の拡大を支援し、「健康寿命世界一」を実現させる。
----	---

事業概要	<p>1 自主グループの活動を支える人材の育成 1,381千円 (活動の質の向上と継続性の確保に対する支援の実施) ○自主グループの活動拠点に定期的に出向き、体操指導、体力測定、介護予防に関する情報提供等を行う人材(インストラクター)の養成を計画的に実施する。 ○インストラクターのスキルアップ支援(フォローアップ研修の実施) ○活動を充実させていくための人材(サポーター)養成</p> <p>2 自主グループの活動支援 2,018千円 (活動の幅の拡大と会員のモチベーションアップへの支援) ○音楽療法を活用した新たな介護プログラムの作成、提供(マニュアル作成) 新規 ○インストラクターの定期的な訪問活動の実施 ○ユニークな取組みを実践する自主グループの顕彰、他グループへの情報発信(DVDの作成、情報提供) 新規</p>
------	---



4 健康都市 ①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築

【新規】

健康度見える化事業

保健福祉長寿局

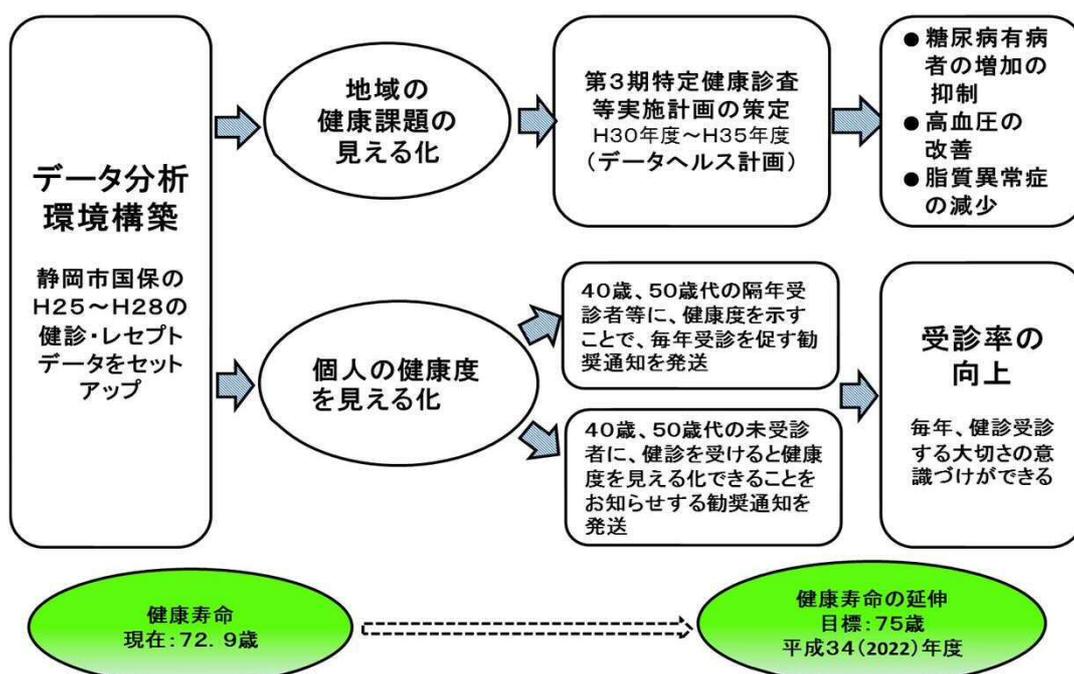
(千円)

	事業費	特定財源			一般会計繰入金
		国・県支出金 (10/10)	市債	その他	
当初予算額	8,225	6,595		1,630	
前年度予算額					

目的	健診・レセプトデータの分析を行い、地域の健康課題を明確にして、生活習慣病の発症・重症化予防につなげる。また、若年者や医療管理下でない健診未受診者を抽出し、受診勧奨を行い受診率の向上を図る。
----	--

事業概要	<p>1 国保健康レセプトデータの分析環境の構築 1,640千円 静岡市国保の健診・レセプトデータの分析環境構築することにより、地域の健康課題を明確にして、今後の施策を検討し、「第3期特定健康診査等実施計画」を策定する。</p> <p>2 「健康年齢分析レポート」等による健診受診勧奨 6,585千円 特定健康診査の受診率を向上させるため、「1」による分析結果や健康年齢分析レポート作成機能を活用し、特定健診の受診率が低い40歳代、50歳代を対象者にした受診勧奨を試行的に実施する。 ○特定健診未受診者のタイプにあった受診勧奨通知を送付する。 ○毎年受診できていない受診者に、「健康年齢分析レポート」を送付して継続受診を促す。</p>
------	---

健康度見える化事業



4 健康都市 ①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築

【新規】

しずおか「カラダにeat75」事業

保健福祉長寿局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	3,513				3,513
前年度予算額					

目的	健康寿命の延伸を目指し、まちぐるみで食を通じた健康づくりに取り組むことができるよう、市・大学・民間企業等が連携して具体的な施策を検討・実施し、食に関する取組を通じて市民の健康意識を高め、健康増進を図る。
----	---

事業概要	1 「カラダにeatネット」(仮称)の設置 1,275千円 民間の団体や有識者等からなる検討組織を設置し、市と民間企業・団体等が連携し、まちぐるみで実施する食を通じた健康づくり施策を検討・実施するとともに、市民への情報発信を行う。
	2 食と健康に関する講演会の実施 1,888千円 食と健康に関する市民向けの講演会を開催し、市民の食と健康に関する意識向上を図る。
	3 市内スーパーマーケットとの連携による食育イベントの実施 131千円 買い物客に対し、体組成測定や塩分(味覚)チェック等を実施し、測定結果に係る健康アドバイスや、スーパーマーケットと協力し作成した健康食のレシピの提供を行うほか、実際に健康食の試食を行う。
	4 大学との連携による大学食堂等での健康食の提供 219千円 学生や市職員(栄養士)が考えた健康メニュー等を使用した健康食を大学食堂や市役所食堂で提供し、学生や市役所を訪れる市民に健康食をPRすることで、食生活改善の意識を高める。



3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

4 健康都市	市民が住み慣れた地域で暮らし続けられるまちづくりの推進
4-②	静岡型子ども・子育て支援の推進

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成29年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
結婚支援									
1	子ども未来局	青少年育成課	拡充	しずおかエンジェルプロジェクト推進事業	ソフト	6,341		128	81
2	子ども未来局	青少年育成課	新規	★結婚新生活支援事業費助成	ソフト	4,800		89	81
妊娠・出産支援									
3	子ども未来局	子ども家庭課	継続	不妊治療助成事業	ソフト	230,200		—	84
4	子ども未来局	子ども家庭課	拡充	産後ケア事業／ママケアデイサービス事業	ソフト	12,215		129	84
5	子ども未来局	子ども家庭課	拡充	利用者支援事業(母子保健型) (子育て世代包括支援センター)	ソフト	877		—	83
子ども・子育て支援(乳幼児期)									
6	子ども未来局	幼保支援課	継続	私立こども園・保育所等給付事業	ソフト	10,346,854		—	82
7	子ども未来局	子ども未来課	継続	幼児期の教育・保育の施設整備	ハード	3,318,157		130	80
8	子ども未来局	幼保支援課	継続	市立こども園等給付事業	ソフト	2,828,936		—	81
9	子ども未来局	こども園課	継続	市立こども園等運営事業	ソフト	1,797,252		—	83
10	子ども未来局	幼保支援課	新規	保育士等宿舍借上げ支援事業費助成	ソフト	11,745		131	82
11	子ども未来局	子ども未来課	継続	静岡あったか家族応援事業 (子育てしやすいまちの情報発信)	ソフト	1,000		—	80
子ども・子育て支援(学童期)									
12	子ども未来局	子ども未来課	拡充	放課後児童クラブの整備・運営	ハード ソフト	927,045		132	80
13	子ども未来局	子ども未来課	継続	★生涯学習交流館建設事業(児童館含む)	ハード	32,400		191	81
14	教育局	教育施設課	新規	小中学校校舎・体育館大規模改修事業	ハード	1,035,000		133	118
15	教育局	教育施設課	継続	森下小学校校舎改築事業 (学校施設改築・長寿命化事業)	ハード	563,354		—	118
16	教育局	教育施設課	継続	小中学校校舎トイレリフレッシュ事業	ハード	104,400		—	118
17	教育局	教育施設課	継続	小中学校基幹設備等改修事業	ハード	49,100		—	118
18	教育局	学校給食課	継続	北部学校給食センター整備事業	ハード	725,300		134	120
19	教育局	学校給食課	継続	西島学校給食センターPFI事業	ハード	170,596		—	120
20	教育局	教育施設課	新規	清水地区校外調理方式解消事業	ハード	97,800		135	119
21	教育局	学校給食課	新規	中吉田学校給食センター特定天井改修事業	ハード	3,500		—	120
22	教育局	教育総務課	拡充	放課後子ども教室推進事業	ソフト	56,454		—	116

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成29年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
23	教育局	学校教育課	拡充	特別支援教育推進事業	ソフト	151,037		—	119
24	教育局	学校教育課	拡充	中学校部活動指導員配置事業	ソフト	44,085		—	119
25	教育局	教育総務課	継続	学校応援団推進事業	ソフト	12,462		—	116
26	教育局	教育総務課	拡充	コミュニティ・スクール研究推進事業	ソフト	499		—	116
27	教育局	学校教育課	継続	小・中学校校務支援システム整備事業	ソフト	10,000		136	119
28	教育局	教育総務課 学校教育課	拡充	小中一貫教育準備経費	ソフト	5,310		—	117
29	教育局	学事課	拡充	★高校生、短大生、大学生に対する奨学金貸付事業	ソフト	52,920		87	119
若者支援									
30	子ども未来局	青少年育成課	継続	わかものまちな推進事業	ソフト	771		—	81
31	子ども未来局	青少年育成課	拡充	ひきこもり対策推進事業	ソフト	20,813		—	81
困難を有する子ども・若者の支援									
32	子ども未来局 教育局	子ども未来課 子ども家庭課 児童相談所 学校教育課	拡充	子どもの貧困対策の推進 ・学習・生活の支援 ・自立の支援 ・子どもの貧困実態調査	ソフト	61,288		137	80 83 84 120
33	保健福祉長寿局	福祉総務課	継続	子どもの学習援助事業	ソフト	3,027		—	69
34	子ども未来局	子ども家庭課	継続	母子家庭自立支援給付金、就労支援事業	ソフト	16,232		—	83
35	子ども未来局	子ども家庭課	継続	母子生活支援・助産施設運営措置事業 (学習支援にかかる加算)	ソフト	1,234		—	83
36	子ども未来局	児童相談所	継続	児童福祉施設入所措置事業 (学習支援に係る加算)	ソフト	5,010		—	84
37	子ども未来局	児童相談所	継続	里親支援事業(専門職員配置)	ソフト	4,835		—	84
38	子ども未来局	児童相談所	継続	児童相談所運営事業 (児童相談所アドバイザーの設置)	ソフト	1,920		—	84
計						22,714,769			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成28年度当初予算額 18,547,610

4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

【拡充】

しずおかエンジェルプロジェクト推進事業

子ども未来局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	6,341	589			5,752
前年度予算額	4,388	2,739			1,649

目的	未婚化・晩婚化に伴う少子化への対策のため、男女の出会いの機会の創出や、地域ぐるみで結婚を応援する気運の醸成を図る。
----	---

事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 出会いのイベントの開催 5,312千円 <ul style="list-style-type: none"> ○地域資源を活用した出会いのイベントの開催 ○中部5市2町連携による出会いのイベントの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・県内中部圏を巡る婚活ツアーの開催 拡充 ○静岡男子と首都圏女子との婚活バスツアーの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏女子向け移住セミナー&婚活バスツアーの開催 拡充 2 若年層向けライフデザインセミナーの開催 534千円 <ul style="list-style-type: none"> ○高校生や大学生等を対象に、人生設計の視点から仕事や結婚・出産・子育て等について考えるセミナーの開催 3 結婚を応援する気運の醸成 495千円 <ul style="list-style-type: none"> ○公共施設を活用したフォトウェディングの推進 ○婚姻届提出記念撮影コーナーの設置 ○カップル応援企業の募集 <p>※中部5市2町広域連携事業</p>
------	--

“しずおかエンジェルプロジェクト”の取り組み

公共施設活用！

出会いのイベントの開催

登呂博物館で
火起こし体験



官民連携！

若手茶商が企画
“利き茶婚活”

若年層向けライフデザインセミナー

結婚を応援する気運の醸成



大学生講師による
高校生向けセミナー！



公共施設で
フォトウェディング

4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

【拡充】

産後ケア事業／ママケアデイサービス事業

子ども未来局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	12,215	5,675		864	5,676
前年度予算額	8,682	2,968		2,745	2,969

目的	<p>出産後の負担を軽減するため、助産師による母体の保護や保健指導などのサービスの提供（産後ケア事業）、相談支援や交流・休憩の場の提供（ママケアデイサービス事業）により、母子の孤立感を解消し、もう一人産みたくなる環境を整える。</p>
----	---

事業概要	<p>1 産後ケア事業 5,215千円 出産直後の身体的機能の回復や育児の不安感が高い方を対象に、母体の保護や保健指導などを提供し、回復に向け、心と体をケアする事業 （対象）生後4か月未満の乳児とその母親</p> <p>〔実施内容〕</p> <p>① 宿泊型 助産所等に宿泊し、授乳、沐浴の指導、母体管理を実施 ② 日帰り型 利用希望者に助産所等に来てもらい、指導を実施 ③ 訪問型 助産師が対象者宅に赴き育児指導や健康管理を実施</p> <p>拡充 <u>乳房マッサージの実施を追加（利用者負担額は変更なし）</u></p> <p>2 ママケアデイサービス事業 7,000千円 ・産婦の悩みに応える相談支援や休息、交流の場の提供 ・市内の民間宿泊施設、温泉施設を活用し、官民協働で実施 （対象）4か月以上の0歳児とその母親</p>
------	---

産後ケア事業



乳房マッサージ
を追加

利用者負担額は
そのまま！

ママケアデイサービス事業



民間宿泊施設、
温泉施設を活用

官民協働！

相談支援や交流、
休憩の場を提供

4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

幼児期の教育・保育の施設整備

子ども未来局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (8/9、2/3)	市債	その他	
当初予算額	3,318,157	2,822,737	462,700		32,720
前年度予算額	2,016,405	1,749,022	202,900		64,483

目的	保育所等の待機児童解消に向けて、必要な教育・保育の受け皿を確保するための施設整備を推進する。
----	--

事業概要	平成29年度 整備予定 定員数 1,846人	3,318,157千円
	<ol style="list-style-type: none"> 1 既存保育施設の定員増 12か所 180人 836,501千円 2 私立幼稚園の認定こども園移行 11か所 616人 1,377,861千円 3 認定こども園等の新設 9か所 780人 921,846千円 4 小規模保育事業等の新設 15か所 270人 181,949千円 <p>※箇所数及び定員増数には、補助を伴わない整備分（予算措置なし）を含む。 ※下表との相違は、計画策定後に実施意向を示した園があったこと等による。</p>	

【事業計画の全体像】
 27年度から30年度までの4年間で
 2,986人分の定員増



教育・保育の量の見込みと確保方策の全体計画（平成28年10月改訂）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計
1 既存保育施設の定員増	4か所 80人	9か所 122人	10か所 150人	1か所 29人	24か所 381人
2 私立幼稚園の認定こども園移行	2か所 117人	3か所 170人	9か所 496人	—	14か所 783人
3 認定こども園等の新設	3か所 210人	3か所 190人	10か所 870人	—	16か所 1,270人
4 小規模保育事業等の新設	6か所 108人	4か所 66人	16か所 288人	5か所 90人	31か所 552人
合計	15か所 515人	19か所 548人	45か所 1,804人	6か所 119人	85か所 2,986人

4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

【新規】

保育士等宿舎借上げ支援事業費助成

子ども未来局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (2/3)	市債	その他	
当初予算額	11,745	7,830			3,915
前年度予算額					

目的	<p>保育の受け皿拡大を進めていく中で、保育の担い手確保は喫緊の課題であることから、施設における保育士確保を支援し、確実かつ質の高い教育・保育を提供するとともに、人口減少対策としての保育の担い手の流出防止及び県外からの移住促進を図る。</p>
----	---

事業概要	<p>市内保育施設を運営する法人が、雇用する保育士等を法人が借上げた宿舎に入居させる場合に宿舎借り上げに係る経費を助成</p> <p>○対象 私立認可保育施設を運営する法人</p> <p>○対象者 宿舎を借り上げる法人が運営する保育施設に、常勤職員として新たに採用される者のうち以下の者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士養成校の新卒者 ・県外からの移住者 <p>○対象経費 賃借料、共益費、礼金</p> <p>○助成額 月額$\frac{3}{4}$</p>
------	---



保育を支える保育士(園での活動の様子)

4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

【拡充】

放課後児童クラブの整備・運営

子ども未来局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/3)	市債	その他	
当初予算額	927,045	562,786	68,700		295,559
前年度予算額	814,468	455,114	32,000		327,354

目的	放課後児童クラブへの入会希望者が全員利用できるように、施設整備拡充を行うとともに、民間児童クラブへの支援を進めるほか、利用者負担の軽減・開所時間の延長など、運営の充実を図り、利用しやすい環境を整える。
----	--

事業概要	平成29年度 当初の受入児童数	4,570人
	1 放課後児童クラブ室の整備	250,432千円
	・ 11室のクラブ室整備 (450人)	
	2 放課後児童クラブの運営	647,613千円
	・ 支援の質の向上及び安定的なクラブ運営に向け、支援員配置等の運営体制を見直し 拡充 ・ 開所時間を原則19時まで延長 拡充 ・ 世帯の所得やきょうだいの入会状況等により利用者負担額を軽減	
3 放課後児童クラブへの助成	29,000千円	
・ 基準を満たす民間児童クラブに対し運営費を助成 ・ 世帯の所得やきょうだいの入会状況等により民間児童クラブの利用者負担額を軽減		
4 放課後子ども教室（教育局）との連携による放課後児童対策の推進		
・ 地域住民の参画により、放課後、学校施設を利用して全学年の児童を対象に安心・安全な体験・交流の場を提供する「放課後子ども教室」との連携を進めることで、放課後児童対策を推進 放課後児童クラブとの一体型 17校 (放課後子ども教室 33校実施予定)		

放課後児童クラブの様子



4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

【新規】

小中学校校舎・体育館大規模改修事業

教育局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/3、1/2)	市債	その他	
当初予算額	1,035,000	248,182	712,000		74,818
前年度予算額					

目的	小中学校校舎・体育館の長寿命化を図るため、老朽化対策と耐震性能を強化する大規模改修工事を行い、児童・生徒が安心・安全に教育を受けられる環境整備と、地域住民の避難所としての機能を確保する。
----	---



事業概要	<p>小中学校の校舎・体育館について、老朽化対策と耐震性能を強化するための大規模改修工事及び設計業務委託を行う。</p> <p>1 設計業務委託 74,000千円</p> <p style="padding-left: 20px;">(小学校)校舎 長田東小学校等 計2校</p> <p style="padding-left: 40px;">体育館 西奈小学校 計1校</p> <p style="padding-left: 20px;">(中学校)体育館 清水小島中学校等 計2校</p> <p style="text-align: right;">合計5校</p> <p>2 工事 961,000千円</p> <p style="padding-left: 20px;">(小学校)体育館 新通小学校等 計4校</p> <p style="padding-left: 20px;">(中学校)体育館 南中学校 計1校</p> <p style="text-align: right;">合計5校</p>
------	--

体育館改修前(イメージ)



体育館改修後(イメージ)

4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

北部学校給食センター整備事業

教育局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/3、1/2)	市債	その他	
当初予算額	725,300	284,098	393,200		48,002
前年度予算額	107,700		80,700		27,000

目的	安心・安全な学校給食の提供を行うため、老朽化した北部学校給食センターをPFI手法により改築・運営する。
----	---

事業概要	<p>PFI方式による北部学校給食センターの建替整備・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業場所 葵区門屋 ○敷地面積 約7,000㎡ ○建物概要 鉄骨造2階建 約4,600㎡ (予定) ○最大調理能力 10,000食、アレルギー対応食50食 ○工事期間 平成28年4月～平成30年1月 ○供用開始 平成30年4月 ○事業期間 平成28年度～平成44年度 ○総事業費 9,000,000千円 ○平成29年度事業 新センター建設 ほか
------	---



4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

【新規】

清水地区校外調理方式解消事業

教育局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	97,800		73,300		24,500
前年度予算額					

目的	清水地区の中学校で実施している校外調理方式を解消し、学校給食センター方式へ移行するため、各中学校敷地内に給食受領室を整備し、「日本一おいしい学校給食」の提供実現を目指す。
----	---



事業概要	<p>学校給食センターからの給食提供を実施するための給食受領室を整備する。</p> <p>○事業期間 平成29年度～平成30年度</p> <p>○対象校 清水地区の中学校</p> <p>○事業内容 給食受領室の設置または既存受領室の拡張工事</p> <p>○平成29年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計業務委託 清水第一中学校等 8校 ・工事 清水第二中学校等 2校 ・設計業務委託 清水飯田中学校 1校及び工事
------	--

主な改善点！	
校外調理方式	学校給食センター方式
<ul style="list-style-type: none"> ・委託業者からお弁当を配送 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食センターから給食を配送
	
<p>【選択制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・希望した生徒にお弁当が届き、それ以外の生徒は自宅からお弁当を持参 <p>喫食率：64.7%<H28.5時点></p>	<p>【全員給食】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒全員で配膳や一緒に食べることで、社交性や協同の気持ちが育まれる ・同じ献立を通じた食育指導の実施が可能となり、食の大切さへの理解が深まる
<p>【対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清水地区11中学校 (約4,947食<H28.5時点>) 	

4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

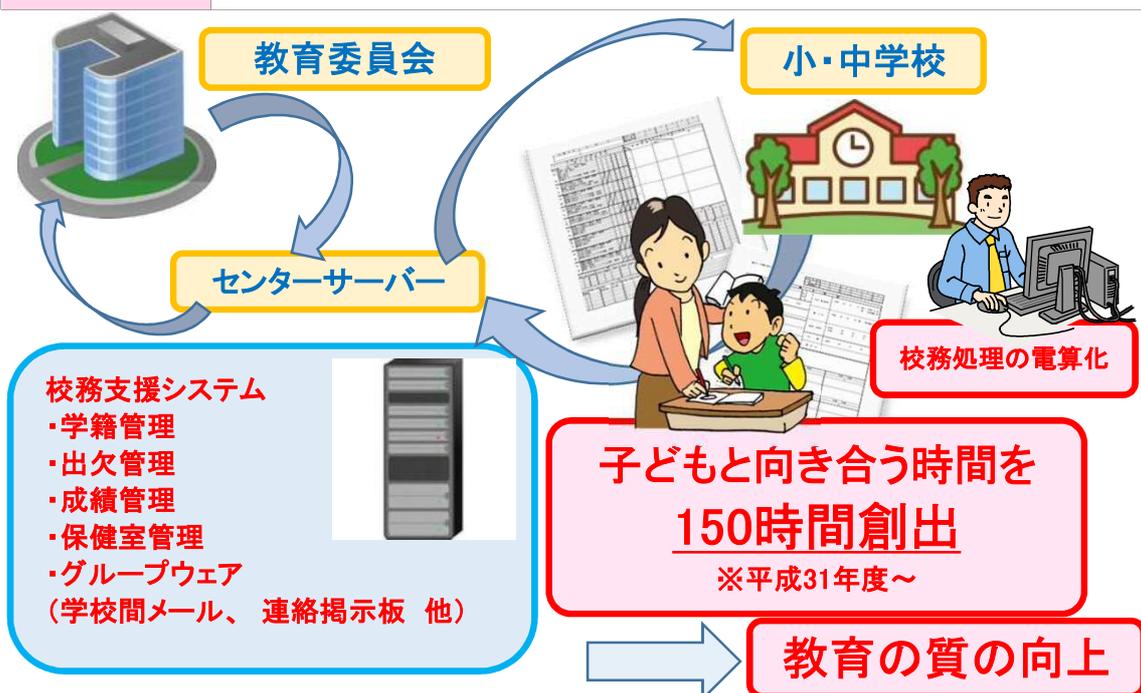
小・中学校校務支援システム整備事業 教育局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	10,000				10,000
前年度予算額	5,000				5,000

目的	教員の多忙化を解消し、子どもと向き合う時間と教材研究の時間を確保するため、校務支援システムの整備により情報化を推進する。
----	--

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○校務支援システム <ul style="list-style-type: none"> ・各種書類作成の省力化（出席簿、通信表、指導要録等） ・児童・生徒に関するデータの効率的な活用・安全管理（出欠記録や成績管理等） ○全体スケジュール <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度 校務支援システムの調達・構築 ・平成30年度～ 小・中学校全校稼働（5年更新） ○導入効果 <ul style="list-style-type: none"> 子どもと向き合う時間の創出 ・平成30年度：100時間 ・平成31年度～34年度：150時間/年
------	--



4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

【拡充】

子どもの貧困対策の推進

子ども未来局・教育局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2、3/4)	市債	その他	
当初予算額	61,288	17,696			43,592
前年度予算額	42,548	13,825			28,723

目的	学校や地域、福祉関係機関等が連携し、支援を必要とする子ども・家庭を確実に捉え、教育の支援・生活の支援・保護者の就労支援・経済的支援を行う。
----	---

事業概要	平成29年度新規・拡充事業	
	1 学習・生活の支援	36,685千円
	<p>○ひとり親家庭等の児童への学習支援事業 大学生等のボランティアの協力を得て、安心して過ごせる居場所を提供するとともに、子どもの気持ちに寄り添った学習支援と生活支援を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集合形式：学習支援は市内6ヶ所で継続実施 ・派遣形式：自宅にて学習支援を実施 ・生活支援：生活支援会場を清水区に新設し、市内3区で実施 拡充（2ヶ所：20人 ⇒ 3ヶ所：30人） <p>○スクールソーシャルワーカー活用事業 スクールソーシャルワーカーが、貧困や虐待など複雑な問題を抱える子ども・家庭の支援、学校と福祉機関との連携の補助を行うことにより、問題解決に向けた支援体制を整備 平成29年度：12名（平成28年度：10名）※2名増員 拡充</p>	
2 自立の支援	17,603千円	
	<p>○要保護児童への自立支援事業 児童養護施設への入所児童や里親に委託措置された児童等の自立を支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童養護施設への心理担当職員を1名加配 新規 ・児童養護施設入所児童等四年制大学等への進学への支援 ・施設退所時等の一人暮らし援助 <p>○ひとり親家庭への家計相談事業 新規 相談者が家計を管理する意欲を高め、生活困窮状態になることを防止し、自立に結びつけるため、ファイナンシャルプランナー等の専門家による個別相談会を実施</p>	
	3 子どもの貧困実態調査 新規	7,000千円
	子どもの貧困対策の実効性を高めるため、3局（子ども未来局・保健福祉長寿局・教育局）連携により実態調査を実施し、地域の実情を把握するとともに「静岡市子どもの貧困対策推進計画」の見直しを図る。	

3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

4 健康都市	市民が住み慣れた地域で暮らし続けられるまちづくりの推進
4-③	健康都市の実現に向けた基盤整備

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成29年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
自転車を利用しやすいまち									
1	建設局	道路保全課	継続	★交通安全施設整備事業 (自転車走行空間ネットワーク整備事業)	ハード	237,000	③教育文化 ④「健康長寿のまち」	139	111
2	都市局	交通政策課	継続	自転車利用計画推進事業	ソフト	7,700		140	100
3	都市局	交通政策課	継続	市営駐車場・駐輪場の民間活力導入のための調査事業	ソフト	3,500		—	101
歩いて楽しいまち									
4	都市局	市街地整備課	継続	★呉服町通線(紺屋町地区)道路整備事業	ハード	34,300	⑤「まちは劇場」	141	102
5	都市局	都市計画課	新規	★静岡・清水都心地区魅力(まちは劇場)空間創出事業	ソフト	13,000	⑤「まちは劇場」	142	99
6	都市局	都市計画課	継続	★静岡都心地区交通適正化事業	ソフト	10,000	⑤「まちは劇場」	143	99
7	都市局	市街地整備課 都市計画課	継続	★追手町音羽町線等にぎわい空間創出事業	ハード ソフト	20,000	①歴史文化	144	99 102
8	都市局	公園整備課 緑地政策課	継続	★駿府城公園「桜の名所」づくり事業	ハード	20,000	①歴史文化	36	104
9	観光交流文化局	スポーツ振興課	新規	★駿府城公園周辺ランニング等環境づくり事業	ソフト	4,700	①歴史文化	145	65
10	都市局	清水駅周辺整備課	継続	★草薙駅周辺整備事業(南北駅前広場整備等)	ハード	647,616	③教育文化	57	103
11	都市局 建設局	清水駅周辺整備課 道路計画課	拡充	★草薙駅周辺整備事業(周辺道路整備)	ハード	235,000	③教育文化	58	103 110
12	都市局	都市計画課	新規	★JR草薙駅北口周辺交通環境改善調査事業	ソフト	15,000	③教育文化	59	100
13	都市局	都市計画課	新規	★JR草薙駅北口周辺土地利用計画 (用途地域等)見直し事業	ソフト	2,500	③教育文化	59	99
14	都市局	清水駅周辺整備課	継続	★草薙駅周辺エリアマネジメント支援事業	ソフト	3,000	③教育文化	60	104
15	都市局	交通政策課	継続	鉄道駅のバリアフリー化設備整備事業費助成	ハード	27,400		—	101
16	都市局	市街地整備課	継続	安倍川駅周辺整備事業	ハード	417,210		146	102
17	都市局	都市計画課	継続	静岡市立地適正化計画策定事業	ソフト	11,000		—	99
18	建設局	道路保全課	継続	交通安全施設整備事業 (バリアフリー道路特定事業)	ハード	10,000		—	111
その他									
19	保健福祉長寿局	精神保健福祉課	継続	駿河区地域生活支援センター整備事業	ハード	71,974		147	79
計						1,790,900			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成28年度当初予算額 1,667,049

4 健康都市 ③健康都市の実現に向けた基盤整備

交通安全施設整備事業（自転車走行空間ネットワーク整備事業） 建設局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (5.5/10)	市債	その他	
当初予算額	237,000	105,050	79,800	26,000	26,150
前年度予算額	174,700	94,435	69,100	3,000	8,165

目的	自転車や歩行者が、安心して通行できる道路空間の提供
----	---------------------------

事業概要	<p>整備予定箇所の道路の現状（車道や歩道の幅）に応じた整備を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主な整備手法 <ul style="list-style-type: none"> ・自転車走行誘導帯（ブルーレーン） 外側線（白線）の外側（路肩）を青色で着色し、自転車の通行位置を明示。 ・自転車通行表示 歩道のない道路において、歩行者（路側帯）及び自転車（車道左側端）の通行位置を明示。 ○主な整備予定箇所 <ul style="list-style-type: none"> ・東草深町北安東線（葵区東草深町付近） ・本村海岸17号線（清水区三保付近） ほか
------	--

安全で快適な自転車走行空間を整備



自転車走行誘導帯(ブルーレーン)の例



自転車通行表示の例

4 健康都市 ③健康都市の実現に向けた基盤整備

自転車利用計画推進事業 都市局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	7,700				7,700
前年度予算額	6,125				6,125

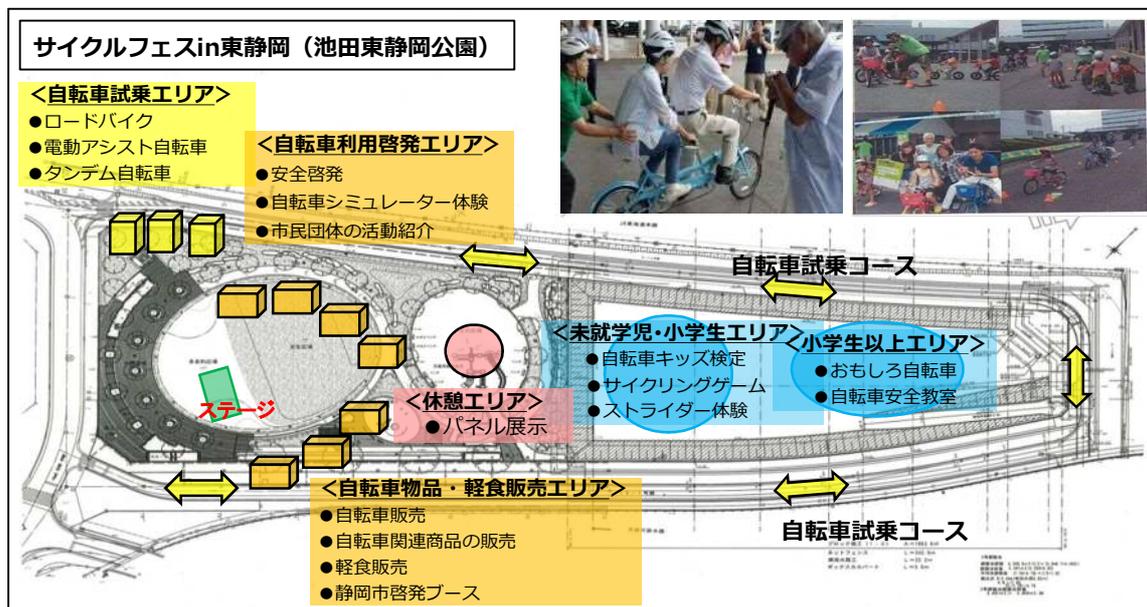
目的 平成27年3月に策定した「自転車利用計画」に掲げた世界水準の自転車都市を目指し、民間と連携しつつ、「健康の増進」、「環境負荷の軽減」、「利用の促進」、「賑わいの創出」、「モラルの向上」等を図り、健康長寿のまちづくりを推進。

事業概要 健康長寿のまちづくりに寄与することを目的に、自転車利用環境の向上に向けたハード、ソフト事業を実施。

[平成29年度事業内容]

1 サイクルフェスin東静岡の開催	4,200千円
2 自転車サポーター制度の推進	800千円
・市内の各店舗等を自転車サポーターに認定し、空気入れやマップの設置、修理キットの販売等を実施。	
3 自転車マップの作成	1,300千円
・日本サイクル協会推奨のサイクリングコース100選マップやタンDEM自転車の推奨コースマップ等を作成。	
4 ウェブサイトコンテンツの拡充	1,000千円
5 自転車押し歩き啓発チラシ印刷	400千円

[期待される効果]
自転車関連イベント開催や自転車マップ作成・配布による自転車利用の促進。一般企業や市民団体等と連携して取り組むことによる地域の活性化。



4 健康都市 ③健康都市の実現に向けた基盤整備

呉服町通線（紺屋町地区）道路整備事業

都市局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	34,300	17,150	15,400		1,750
前年度予算額	7,000	3,500			3,500

目的	<p>中心市街地における歩行者の安全性と回遊性を向上させるため、呉服町通線（紺屋町地区）について、政令市の玄関口にふさわしい賑わいと潤いのある空間を形成し、歩いて楽しいまちづくりを推進する。</p>
----	---

事業概要	<p>呉服町通り（紺屋町地区）の2街区において、賑わいと潤いのある歩行者専用空間を創出するため、一部時間帯の車両交通の規制を目指し、関係者及び地域住民参加のワークショップを行いながら、道路の基本・詳細設計を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業期間 平成25年度～平成31年度 ○平成29年度事業内容 ○現況測量 ○基本・詳細設計（ワークショップ含む） <p>○期待される効果 歩きやすく魅力的な歩行者空間や滞留空間を創出することで、更なる賑わいによるまちの魅力向上。</p>
------	---

現状



イメージ(賑わいのある歩行者空間)



東京都新宿区（新宿区HPより）

賑わいと潤いのある空間の創出

魅力的な歩行者空間を創出し、有効活用することで、歩いて楽しいまちづくりを推進します



呉服町通り

整備区間(L=約170m)

4 健康都市 ③ 健康都市の実現に向けた基盤整備

【新規】

静岡・清水都心地区魅力（まちは劇場）空間創出事業

都市局

（千円）

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	13,000	4,500			8,500
前年度予算額					

目的	静岡・清水都心地区において、まちの魅力向上に向け、十分に活用されていない公共空間等の地域資源を掘り起こし、その活用方法を検討することにより、「まちは劇場」および「歩いて楽しいまち」の実現を目指す。
----	--



事業概要	<p>静岡、清水都心地区魅力空間創出に向けた検討</p> <p>まちなかに点在する公共空間、低未利用地および地域活動を地区毎のカルテとして整理し、魅力空間創出に向けた適切な活用方法を検討。</p> <p>○期待される効果 静岡・清水都心地区の魅力の向上が図られることによる、更なる街なかの賑わい創出。</p>
------	--

魅力的な公共空間づくり

モール化やプロムナード化など、魅力的なまちづくりを進めるために、公共空間の適切な活用方法を検討する取り組みです。



4 健康都市 ③ 健康都市の実現に向けた基盤整備

静岡都心地区交通適正化事業

都市局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	10,000	5,000			5,000
前年度予算額	11,000	5,500			5,500

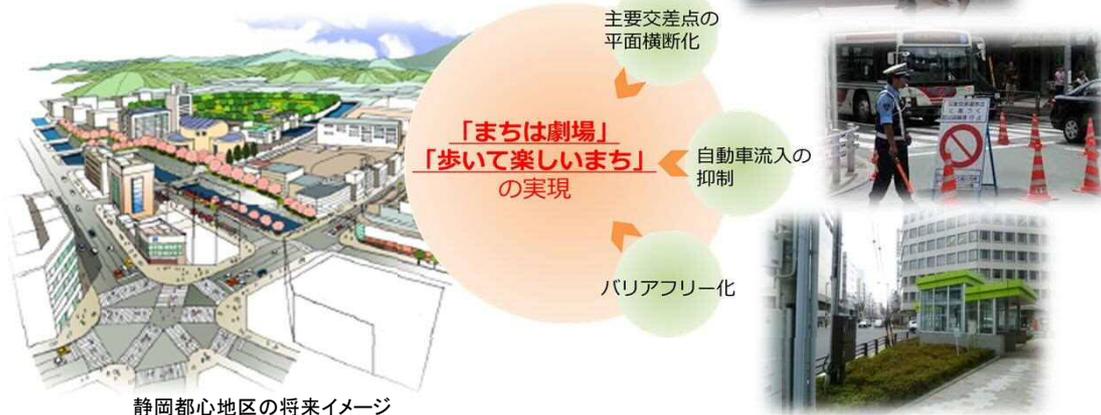
目的	静岡都心地区において、歩行者や自転車が安全かつ快適に回遊・滞留できる空間形成による歩いて楽しいまちづくりを推進する。
----	--



事業概要	<p>○静岡都心地区移動・回遊性向上計画の作成 歩行者や自転車が安全かつ快適に回遊・滞留できる空間形成を実現するため、静岡都心地区への自動車流入の抑制に必要な改善策を示す整備計画を作成する。</p> <p>(期待される効果) 静岡都心地区内の移動・回遊性の向上が図られることにより、更なる街なかの賑わい創出が期待される。</p>
------	--

快適な移動環境づくり

平面横断化やバリアフリー化など、歩行者中心のまちづくりを進めるために、まちなかを通過する車両を適正に誘導する取り組みです。



4 健康都市 ③ 健康都市の実現に向けた基盤整備

追手町音羽町線等にぎわい空間創出事業

都市局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	20,000	10,000	8,100		1,900
前年度予算額	10,000	5,000			5,000

目的	駿府城公園と商業地区との間の（市）追手町音羽町線等について、「駿府城公園とおまちを繋ぐ魅力ある道筋」となるよう、官民連携による賑わい創出、安全で快適に回遊・滞留できる空間を形成し、歩いて楽しいまちづくりを推進する。
----	---

事業概要	<p>駿府城公園周辺に誘うルートとなるよう地域と連携し、平成28年度作成した基本構想に基づいた設計の実施や、地域主体の管理運営方法の検討を行う。</p> <p>1 追手町音羽町線測量設計の実施 18,000千円 ○実施内容 ・ 現況測量 ・ 道路、昇降口等設計</p> <p>2 追手町音羽町線公共空間管理運営体制の検討 2,000千円 ○実施内容 ・ 管理運営体制検討</p> <p>(期待される効果) 静岡都心地区内の移動・回遊性の向上が図られることにより、更なる街なかの賑わい創出につながる。</p>
------	---

追手町音羽町線 イメージパース



4 健康都市 ③健康都市の実現に向けた基盤整備

【新規】

駿府城公園周辺ランニング等環境づくり事業

観光交流文化局

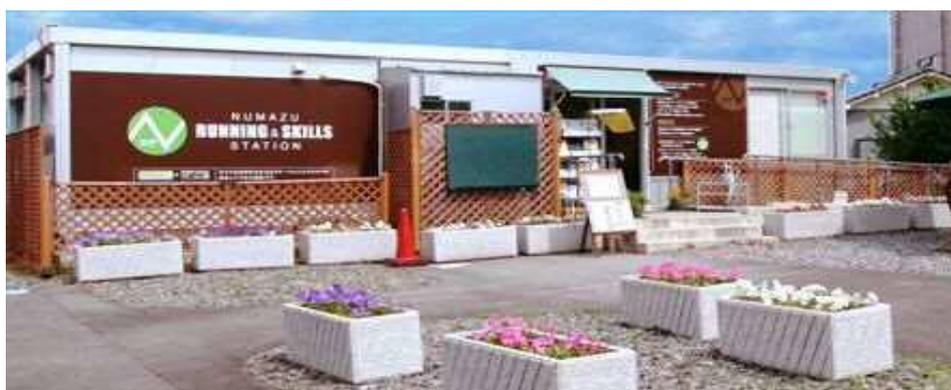
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	4,700				4,700
前年度予算額					

目的	日頃からランニングやウォーキングのコースとして活用されている駿府城公園周辺の環境を整備し、気軽にできるランニングやウォーキングを普及推進することでスポーツ振興及び健康寿命の延伸を図る。
----	--

事業概要	<p>駿府城公園周辺のランニング等の環境づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> ランニングステーションの建設（平成28年度2月補正要求） <ul style="list-style-type: none"> ○整備箇所 中央体育館敷地内（葵区駿府町） ○整備内容 シャワー、ロッカー、パウダールーム、トイレ、洗面、交流スペースほか ○整備面積 約100㎡ ○完成時期 平成30年3月（予定） ランニング教室、健康セミナーの開催（平成28年度2月補正要求） <ul style="list-style-type: none"> ※機運醸成によりランニング・ウォーキング人口を増加。 ○ランニング教室 年3回（予定） ○健康セミナー 年4回（予定） ランニングステーション必要備品（ロッカー）の購入 ランニングコースマップ等の作成 <ul style="list-style-type: none"> ○おすすめコースマップ等を作成。
------	---

※施設イメージ(参考) 沼津ランニング&スキルズステーション



駿府城公園中堀 ウォーキング・ランニングの様子



4 健康都市 ③健康都市の実現に向けた基盤整備

安倍川駅周辺整備事業

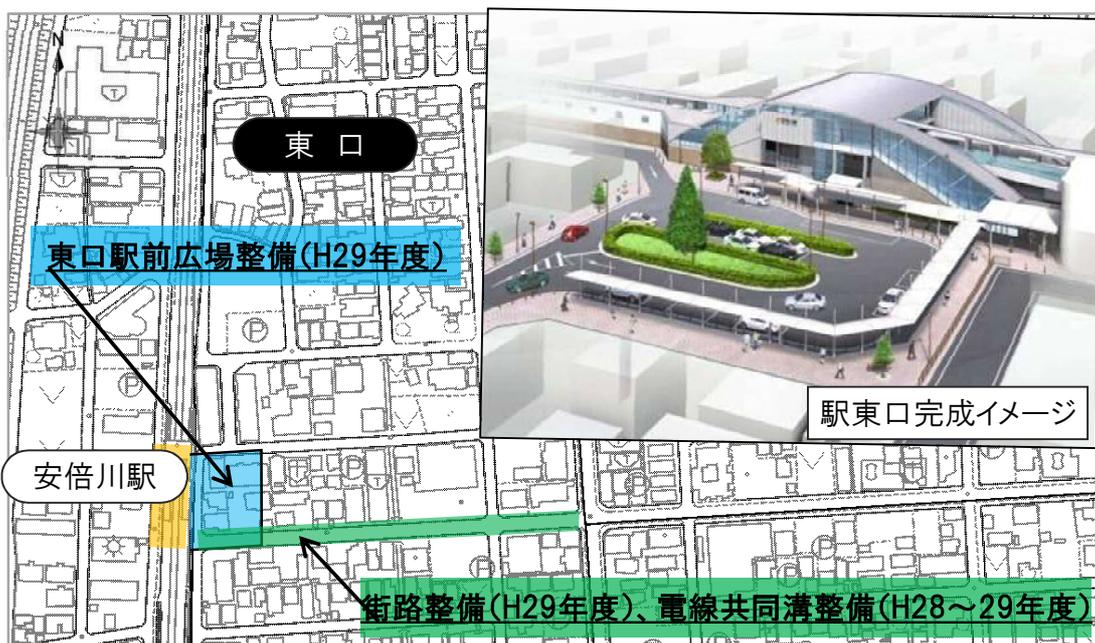
都市局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (5.5/10)	市債	その他	
当初予算額	417,210	211,981	178,800	38	26,391
前年度予算額	216,381	107,419	81,200	33	27,729

目的	安倍川駅の駅前広場やアクセス道路等の整備によって、駅周辺環境の改善を図り、誰もが安心、安全、快適に暮らせる、幅広い世代に対応したまちづくりを推進する。
----	---

事業概要	○事業内容 駅前広場整備、アクセス道路整備 生活関連経路整備ほか
	○事業期間 平成21年度～平成29年度
○平成29年度事業内容	1 東口駅前広場整備（平成30年3月完成予定） 229,000千円
	2 みずほ東新田線電線共同溝整備ほか 188,210千円
○期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・交通結節機能の強化 駅へのアクセス環境の向上により、交通結節機能を強化 ・バリアフリー化の推進 バリアフリー化の推進により、人にやさしい生活環境の形成 ・居住環境の整備 まちの安全性向上と地域活動の活発化により、良好な居住環境の整備



4 健康都市 ③健康都市の実現に向けた基盤整備

駿河区地域生活支援センター整備事業

保健福祉長寿局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	71,974		51,200		20,774
前年度予算額	3,800				3,800

目的	駿河区下川原にある地域生活支援センターが老朽化し、また、活動スペースが狭小であることから、南部保健福祉センター3階に移転整備することで、駿河区における精神障がい者の地域生活の拠点として、相談及び生活支援体制の充実を図る。
----	--

事業概要	<p>○施設整備概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所 駿河区曲金（南部保健福祉センター3階） ・施設概要 鉄筋コンクリート3階建て3階部分 延床面積395㎡ 事務室、相談室、地域交流室、食堂兼談話室、調理室、洗濯室、浴室・洗面室、多目的室、静養室等。 ・整備期間 平成29年9月～平成30年2月（平成30年4月開所予定） <p>○地域生活支援センターの事業</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 地域活動支援センター事業 日常生活の援助や地域交流をとおして、地域で暮らす精神障がい者の自立と社会参加を促進 ② 相談支援事業 精神障がい者やその家族からの相談に応じ、情報提供及び助言、権利擁護等の必要な援助 ③ 退院支援事業 長期入院者の精神科病院からの退院・地域移行に向けた支援を、専任職員が医療機関と連携して実施
------	--

調理室(イメージ)



地域交流室(イメージ)



南部保健福祉センター



防災都市

<プロジェクトの目標>

いざという時にも自分の身を守り
互いに助け合うことで
**災害に強く、安心・安全
に暮らせる**まちづくりの推進



<成果目標>

「災害に強く、安心・安全に人が暮らせる
まち」と思っている市民の割合(市民意識調査)

そう思う 57%(H26) → **75%(H34)**

「防災への取り組み」に満足している市民
の割合(市民意識調査)

満足している 39%(H26) → **70%(H34)**

①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

総務局、企画局、経済局、都市局、建設局
消防局、上下水道局、教育局

実現すべき将来像

○従来の施策の充実・強化や甚大な津波想定への
対応など、新たな課題に対する対策

課題と対応策

災害時初動体制の確立について、平成27年度に河
川の雨量情報を得るために静岡県と協定を締結し、
各区へ機器を導入し、対策本部と情報共有できるよ
う環境を整備したが、各地区支部において情報を得
ることができないという課題がある。今後、効果的に各
支部が情報を収集できるよう方法を検討する。

漁港施設機能強化事業については、平成28年度
は用宗漁港西岸壁L=60m、由比漁港広野防波堤
L=60mと由比漁港物揚げ岸壁L=143mを実施中であ
り、平成29年度には由比漁港物揚げ岸壁L=12mを
実施予定。

また、最大クラスの津波が発生した際の被害が想定
される5浄化センター及び12ポンプ場の耐津波診断
を平成30年度までに終える。平成29年度も計画ど
おり耐津波診断を実施する。

平成29年度の取組

- 平成29年度も引き続き、津波避難施設を整備を行
い、津波避難空白エリアの解消に努める。
- 平成29年度は自助・共助の取組を強化するため、
自主防災組織に対し支援を継続する。
- 漁港施設機能強化事業については、用宗漁港広
野防波堤と由比漁港物揚げ岸壁の改良を実施し、平
成29年度事業完了を目指す。
- 湾岸消防署庁舎移転建設事業については、石油
コンビナート地域を含む清水区の消防サービスの充
実・強化を図るため、平成29年度の完成を目指す。
- 消防団員確保対策事業については、これまでの実
施事業の浸透及び発展により、女性や学生を中心と
した若者の入団を促進し、地域防災力の充実・強化
を図る。

津波避難施設の整備



津波避難施設整備事業
(総務局)【202,739千円】



漁港施設機能強化事業
(経済局)【14,000千円】

消防力の充実・強化



湾岸消防署庁舎移転建設事業
(消防局)【662,562千円】



消防団員確保対策事業
(消防局)【2,459千円】

② 浸水・土砂災害対策の拡充等

総務局、都市局、建設局、上下水道局

実現すべき将来像

○国・県と連携し、重点整備(選択)による浸水・土砂災害対策を推進し、市民の生命を守り、安心して暮らせる防災体制づくりを確立

課題と対応策

急傾斜地崩壊対策事業、河川改修事業は概ね順調に推移しているが、急傾斜地崩壊対策事業においては要望件数が多いという課題がある。引き続き、県と連携し、土砂災害対策を推進するとともに、河川改修事業についても静岡市浸水対策推進プランに基づき、事業推進することで、市民の生命を守り、安心して暮らせる防災体制づくりを確立していく。

また、浸水対策推進プランにおけるハード面については、雨水幹線・ポンプ場などの整備が進むことで、浸水被害の軽減が図られてきた。

平成29年度の取組

○浸水対策のハード面整備については、主に高橋雨水ポンプ場、広野地区等の雨水幹線の整備を行うと共に、確実な事業進捗を図る。

また、河川については、引き続き(準)谷津沢川、(普)大内川等の河川改修を行い、流下能力の向上を図る。○内水ハザードマップは、清水区南部(駒越、折戸、三保)地区の作成と公表、清水区北部(袖師、西久保、興津)地区の基礎調査を実施すると共に、防災部局(洪水ハザードマップ)と記載内容の調整を進める。

○平成29年度は土砂災害対策の取組として、八幡山公園及び西ノ谷公園崩壊防止対策事業(施設整備工事)に引き続き実施するとともに、急傾斜地崩壊対策事業にも取り組む。

浸水災害対策



浸水対策推進プラン(建設局)【136,000千円】
(上下水道局)【4,061,652千円】

土砂災害対策



急傾斜地崩壊対策事業
(建設局)【18,000千円】

土砂災害等防止対策事業(公園)
(都市局)【184,400千円】

③ 再生可能エネルギーの導入・普及促進

企画局、総務局、環境局、経済局

実現すべき将来像

○豊かな地域資源を活用した再生可能エネルギーの普及
○次世代のエネルギーとして期待される「水素」を活用したまちづくり

課題と対応策

「再生可能エネルギーの導入・普及促進」では、水素を活用したまちづくりに向けて官民が連携した協議会での議論を進め、水素ステーションの整備等を実施している。

そこで、平成29年度は水素社会の実現に向けた機運の醸成を図るため、FCVや水素ステーションを活用し普及啓発活動等を行う。また、小水力などの再生可能エネルギー導入にあたっては、地域住民や関係者との合意形成が必要なため、引き続き地域住民と連携し導入に向けた取組を行っていく。

平成29年度の取組

○平成29年度は、水素社会の受容性を喚起していくためFCVを活かした普及啓発事業を実施する。併せて、再生可能エネルギーの普及に向け各種普及啓発を行うとともに、導入に向けた検討を行っている団体等と連携を図りながら実現に向けた取組を行う。

静岡型水素タウン構想に向けた取り組み
(協議会における検討をもとに実施)



市民・事業者

水素社会の受容性喚起

静岡型水素タウン促進事業
(環境局)【9,966千円】

再生可能エネルギーの導入・普及促進



再エネ施設を活用した
普及啓発の実施



再エネ導入に向けた
関係者の合意形成

地球温暖化対策普及啓発事業
(環境局)【11,500千円】

3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

5 防災都市	様々な危機に備えた減災力が高い安心・安全なまちづくりの推進
5-①	災害対応力の強化と危機管理体制の確立

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成29年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
津波避難施設の整備									
1	総務局	危機管理総室	継続	津波避難施設整備事業	ハード	202,739		152	47
2	総務局	危機管理総室	継続	津波避難ビル整備事業費助成	ハード	40,000		-	47
3	総務局	危機管理総室	継続	津波避難誘導設備整備事業	ソフト	8,600		-	46
4	経済局	水産漁港課	継続	海岸保全施設整備事業	ハード	21,900		-	95
5	経済局	水産漁港課	継続	漁港施設機能強化事業	ハード	14,000		-	95
公共施設等の耐震化									
6	都市局	建築指導課	拡充	建物の耐震化等助成	ハード ソフト	248,659		153	106 107
7	都市局	建築指導課	継続	要緊急安全確認大規模建築物耐震対策事業	ハード	39,400		154	106
8	都市局	建築指導課	継続	ブロック塀等耐震改修事業費助成	ソフト	8,100		-	106
9	建設局	道路保全課	継続	橋りょう整備事業(橋りょう耐震化事業)	ハード	728,040		155	111
10	建設局	河川課	継続	河川構造物耐震対策事業	ハード	100,000		-	110
消防力の充実強化									
11	消防局	財産管理課	継続	湾岸消防署庁舎移転建設事業	ハード	662,562		156	113
12	消防局	警防課	継続	消防団員確保対策事業	ソフト	2,459		157	114
防災・減災のための情報発信									
13	総務局	危機管理総室	継続	自主防災活動支援事業費助成	ハード	50,000		-	47
14	総務局	危機管理総室	継続	津波避難教育事業(小中学校図上学習)	ソフト	1,550		-	47
15	教育局	学校教育課	継続	防災教育推進事業	ソフト	290		-	119
16	建設局	道路保全課	継続	道路自然災害防除事業 (道路情報等提供システムの構築)	ソフト	41,837		-	111
緊急輸送路等の整備									
17	建設局	道路計画課	継続	★道路ネットワークの整備 (国道1号静岡バイパス整備促進事業)	ハード	1,650,000		158	110
18	建設局	道路計画課	継続	★道路ネットワークの整備 (ICアクセス道路整備事業((主)井川湖御幸線、 (主)山脇大谷線、(主)清水富士宮線))	ハード	1,140,000		158	110

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成29年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
19	建設局	道路計画課	継続	★地域高規格道路 (静岡南北道路)調査検討事業	ソフト	8,100		-	110
20	都市局	建築指導課	継続	狭あい道路拡幅整備事業	ハード ソフト	79,152		160	107
21	建設局	道路保全課	継続	道路自然災害防除事業(道路トンネル補修事業)	ハード	447,600		161	111
22	建設局	道路保全課	継続	道路自然災害防除事業(法面対策事業)	ハード	349,400		161	111
23	建設局	道路保全課	継続	交通安全施設整備事業(無電柱化事業)	ハード	236,000		-	111
その他									
24	上下水道局	下水道施設課	継続	下水道施設津波対策事業	ソフト	98,520		-	152
25	総務局	危機管理総室	新規	感震プレーカー設置費助成	ソフト	30,000		162	47
計						6,208,908			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成28年度当初予算額 7,921,663

5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

津波避難施設整備事業

総務局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (2/3、1/18)	市債	その他	
当初予算額	202,739	146,018	52,500		4,221
前年度予算額	108,930	73,179	31,400		4,351

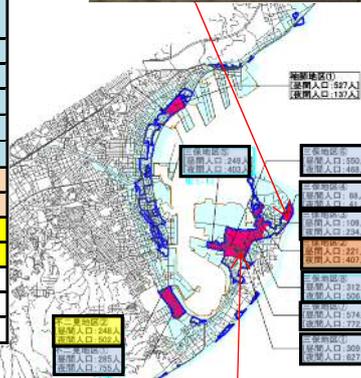
目的	津波の襲来から市民の生命を守るため、緊急避難場所を確保。
----	------------------------------

事業概要	<p>①津波避難タワーの建設 1か所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設場所 駿河区西島 ・完成時期 平成30年2月予定 ・対象人数 533人（収容人数540人） <p>②津波避難路（避難橋）の建設 1か所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備内容 日立ジョンソンコントロールズ空調(株)敷地内を通行し、避難所へ避難するための橋の整備 ・建設場所 清水区村松 ・完成時期 平成30年2月予定 ・対象人数 502人
------	--

【整備状況】

年度	エリア名	種類	建設地(予定地含む)
H25	中島③	タワー	駿河区西島地内(大浜公園内)
	大里東①		駿河区下島地内(塩田公園内)
	三保⑦		清水区三保地内(ふれあい広場内)
H26	三保⑧	タワー	清水区三保地内(ふれあい広場内)
	不二見①		清水区宮加三地内(宮加三公園内)
	三保⑤		清水区三保地内(紅産業社有地)
H27	長田南④	命山	駿河区用宗一丁目地内(汐入公園内)
	三保⑥		清水区三保地内(三井デュボン・フロロケミカル社有地)
H28	中島①	タワー	駿河区中島地内(大浜荘内)
	三保③		清水区三保地内
	三保④		清水区三保地内
H29	三保①	タワー	清水区三保地内
	長田南①		駿河区石部地内
	長田南③		駿河区用宗二丁目地内
H29完成予定 (H28.9補正)	長田南⑥	タワー	駿河区広野五丁目地内
H29 (H29当初)	三保②	タワー	清水区三保地内
	中島②	タワー	駿河区西島地内
H29	不二見②	避難橋	清水区村松地内
	長田南⑤	タワー	駿河区用宗一丁目地内
	長田南②	津波避難ビル指定	駿河区用宗三丁目地内
	袖師①		清水区袖師町地内

清水区三保
平成28年3月完成



駿河区用宗 汐入公園
平成27年9月完成



清水区三保
平成28年11月完成

5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

【拡充】

建物の耐震化等助成

都市局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (国1/2、県3/8ほか)	市債	その他	
当初予算額	248,659	179,529			69,130
前年度予算額	191,109	132,344			58,765

目的	民間が行う住宅、建築物の耐震対策を支援し、東海地震等発生時における人的、物的被害の減少を図る。
----	---



事業概要	<p>1 わが家の専門家診断事業 17,602千円 ○昭和56年5月末以前に建築された木造住宅を対象に、無料で耐震診断を行うため専門家を派遣 ○予定件数 380件</p> <p>2 住宅・建築物耐震診断補強計画策定事業費助成 41,414千円 ○昭和56年5月末以前に建築された住宅及び建築物の耐震診断又は補強計画策定を行う所有者に対し、費用の一部を助成 ○木造住宅の補強計画 250件 他</p> <p>3 木造住宅耐震補強事業費助成 拡充 153,600千円 ○昭和56年5月末以前に建築された木造住宅を対象に、耐震診断又は補強計画に基づき耐震補強工事を実施する所有者に対し、費用の一部を助成（平成29年1月から平成30年3月まで30万円を上乗せ助成） ○一般世帯 128件 ○高齢者・障害者世帯 72件</p> <p>4 建築物耐震補強事業費助成 36,043千円 ○昭和56年5月末以前に建築された建築物を対象に、補強計画に基づき耐震補強工事を実施する所有者に対し費用の一部を助成 ○予定件数 1件</p>
------	--



補強前



補強中



補強後



5 防災都市 ① 災害対応力の強化と危機管理体制の確立

要緊急安全確認大規模建築物耐震対策事業

都市局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (国1/2)	市債	その他	
当初予算額	39,400	19,700			19,700
前年度予算額	103,989	51,994			51,995

目的	耐震改修促進法により、耐震診断が義務付けられた多数の者が利用する大規模建築物の所有者に対し、耐震診断及び補強計画策定費用の一部を補助する制度を拡充することにより、民間建築物の耐震化を促進し、東海地震等発生時における人的、物的被害の減少を図る。
----	---



事業概要	<p>平成25年に耐震改修促進法が改正され、新たに、昭和56年5月末以前に建築された特定建築物のうち、一定の規模・用途に該当する建築物（要緊急安全確認大規模建築物）について、耐震診断の実施及び診断結果の報告が所有者に義務付けられた。</p> <p>平成26年度から要緊急安全確認大規模建築物の所有者が行う耐震診断費用に対する補助を拡充し、27年度からは耐震診断後、耐震補強工事を実施するために補強計画を策定する所有者に対しても、その費用の一部の補助を行った。平成28年度からはその中から耐震補強工事を行う所有者に対して、その費用の一部の補助を行う。</p> <p>○予定件数 耐震補強工事 1 件</p>
------	--

対象建築物		耐震診断結果の報告期限
【耐震診断の義務化・耐震診断結果の公表】		
要緊急安全確認大規模建築物	<p>病院、店舗、旅館等の不特定多数の者が利用する建築物および学校、老人ホーム等の避難弱者が利用する建築物のうち大規模なもの(次ページの表をご覧ください。)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>幼稚園・保育園</p>  <p>(階数2かつ1500㎡以上)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>小・中学校</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>老人ホーム</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>ホテル・旅館</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>美術館・図書館など</p>  </div> </div>	<p>【期限】 平成27年 12月31日</p>
	火薬類、石油類その他危険物を、一定量以上貯蔵または処理している大規模な貯蔵場等	

5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

橋りょう整備事業（橋りょうの耐震化及び健全化事業）

建設局

（千円）

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (2.2/10、1/2、5.5/10)	市債	その他	
当初予算額	1,877,600	659,290	946,500		271,810
前年度予算額	1,714,414	518,350	852,500		343,564

目的	大規模災害に対し橋桁の落下や倒壊が起こらないよう、緊急輸送路や孤立集落対策路線を中心に耐震化を図るとともに、点検で確認された損傷を早期に補修することで健全性を確保し、橋りょうの架替や修繕の事業費の縮減を図る。
----	--

事業概要	<p>1 橋りょう耐震化事業 728,040千円 ○橋脚をコンクリート等により巻立てて補強 ○地震時に橋桁が落下しないよう落橋防止装置を設置 ほか</p> <p>2 橋りょう健全化事業等 1,023,760千円 ○腐食鋼部材塗替えによる長寿命化 ○コンクリート部分の断面補修による長寿命化 ほか</p> <p>3 橋りょう点検 125,800千円 ○5年に一度の法定点検の実施</p> <p>（主な整備予定箇所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（国）362号（安西橋） ・（主）井川湖御幸線（玉機橋）ほか
------	---

1 橋りょう耐震化事業（橋脚巻立て）



2 橋りょう健全化事業（鋼桁塗替え）



5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

湾岸消防署庁舎移転建設事業

消防局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	662,562		620,400		42,162
前年度予算額	430,816		349,900		80,916

目的	消防施設の整備を計画的に推進していくことにより、災害活動拠点施設を整備し、消防体制の強化を図る。
----	--

事業概要	<p>新東名高速道路及び中部横断自動車道の整備による管内の消防需要の変化に対応するため、湾岸消防署をより消防需要の高い清水区庵原町地内へ移転建設し、清水区東部地域の消防責任の完遂及び消防サービスの充実強化を図る。</p> <p>○平成29年度 建築、電気、衛生、空調、昇降機工事、泡消火薬剤整備</p>
------	---

完成予定パース



配備予定車両

指揮車
 水槽付消防ポンプ自動車
 救助工作車
 高規格救急自動車
 大型高所放水車
 大型化学消防ポンプ自動車
 泡原液搬送車
 大型放水砲搭載ホース延長車
 大容量送水ポンプ車



(高規格救急自動車)

(救助工作車)

位置図



(大型放水砲搭載ホース延長車)



(大型高所放水車)



5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

消防団員確保対策事業

消防局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	2,459				2,459
前年度予算額	15,679				15,679

目的	地域防災の中核を担う消防団員の入団促進を行うことにより、地域防災力の充実強化を図る。
----	--



事業概要	<p>本市において、消防団員の確保は喫緊の課題であり、これまでの実施事業の浸透及び発展により、女性や学生を中心とした若者の入団促進を図る。</p> <p>1 広報活動の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○消防団のイメージアップのため、カラーガード隊の各種イベントへの出演 ○消防団活動の情報発信のため、静岡市消防団公式Facebookの活用 <p>2 制度の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学生消防団活動認証制度の周知のため、学校及び商工会議所への説明会の実施 ○消防団協力事業所表示制度の周知のため、商工会議所への説明会の実施
------	--



5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

道路ネットワークの整備

建設局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (2.2/10, 1/3, 1/2, 5.5/10)	市債	その他	
当初予算額	11,366,132	2,517,536	8,665,900	209	182,487
前年度予算額	11,981,304	3,081,865	8,211,100	36	688,303

目的	新東名高速道路、中部横断自動車道、(国)1号静岡バイパス、清水港などと連携した道路ネットワークを構築し、産業や観光を活性化するとともに、市内の渋滞解消や中山間地域(オクシズ)へのアクセス性を向上させる。
----	---

事業概要	<p>1 ICアクセス道路整備 1,140,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(主)井川湖御幸線(下～松富上組) ・(主)山脇大谷線(大谷) ・(主)清水富士宮線(庵原～伊佐布) <p>2 (国)1号静岡バイパス整備促進 1,650,000千円 (国直轄道路事業負担金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(国)1号静岡バイパス4車線化及び清水立体事業 <p>3 (国)150号(静岡バイパス、久能拡幅) 1,140,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渋滞対策及び清水港へのネットワーク強化 <p>4 上記以外の国県道・市道の整備 7,436,132千円</p>
------	---

【道路ネットワークの構築】

① 新東名高速道路及び中部横断自動車道とのアクセス

- ◆(主)井川湖御幸線(下～松富上組)
新静岡IC～静岡市街地の現道拡幅(現状2車線 ⇒ 4車線)
- ◆(主)清水富士宮線(庵原)
清水いはらIC～(国)1号静岡バイパス間のバイパス整備

② (国)1号静岡バイパスの4車線化及び立体化

- ・ 牧ヶ谷IC～丸子IC ⇒ 平成30年度供用予定
- ・ 清水立体 ⇒ 未定



(国)150号(静岡バイパス)



(主)清水富士宮線(庵原～伊佐布)

静岡市道路ネットワーク計画図



5 防災都市 ① 災害対応力の強化と危機管理体制の確立

狭あい道路拡幅整備事業

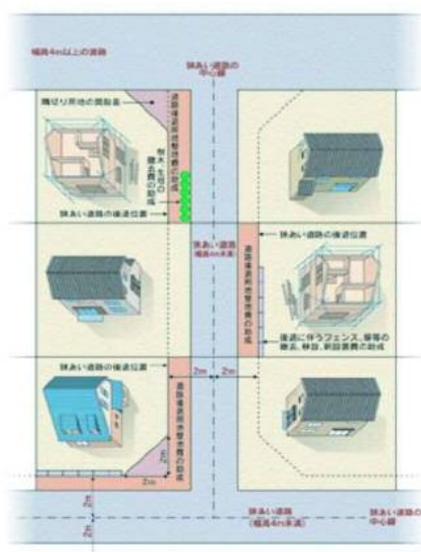
都市局

(千円)

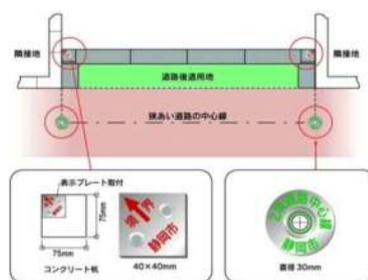
	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	79,152	39,510			39,642
前年度予算額	79,961	39,667			40,294

目的	<p>狭あい道路の拡幅整備を推進することにより、ゆとりある生活環境の確保と市民が安心して暮らせる災害に強いまちづくりを推進。</p> <p>道路に関する情報の適正な管理を図り、閲覧に供することにより、建築に係る業務の円滑化を図る。</p>
----	---

事業概要	<p>1 狭あい道路拡幅整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○補助対象となる道路に面する敷地において、要綱に定める拡幅事業を実施し、その道路拡幅用地を市に寄付するものに対し、助成金及び奨励金を交付 ○予定件数(平成29年度) <ul style="list-style-type: none"> ・境界確定のための測量等委託 40件 ・ブロック塀等の撤去費用等助成 45件 ・後退用地の舗装修繕 45件 <p>2 指定道路台帳整備事業</p> <p>建築基準法に規定する各種道路の指定又は判定等の業務により作成された道路情報を適正に管理し、窓口業務での閲覧等に活用するほか、インターネットによる道路情報の公開と指定道路図情報システムのデータの更新及び精査作業を実施</p>
------	--



狭あい道路拡幅整備事業略図



寄附地の修繕概要



インターネット公開



狭あい道路拡幅整備事業
実施前



狭あい道路拡幅整備事業
実施後

5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

道路自然災害防除事業（道路トンネル補修及び法面対策事業）^{のりめん} 建設局

（千円）

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (2.2/10、1/2、5.5/10)	市債	その他	
当初予算額	797,000	318,050	230,200	37,500	211,250
前年度予算額	559,000	233,900	150,200	12,837	162,063

目的	緊急輸送路等の老朽化したトンネルの補修や、自然災害に備えた法面対策等を実施し、安全で安心な道路環境を確保する。
----	---

事業概要	<p>1 道路トンネル補修事業 447,600千円 ○定期点検によって早急に対策が必要と診断されたトンネルの補修設計・工事を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（国）150号（新日本坂トンネル） ・（主）南アルプス公園線（田代第1号トンネル） ほか <p>2 道路法面対策事業^{のりめん} 349,400千円 ○道路防災点検等によって緊急・早期に対策が必要と診断された法面の対策設計・工事を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（主）井川湖御幸線（葵区口坂本） ・（県）静岡焼津線（駿河区石部） ほか
------	--

1 道路トンネル補修事業



トンネル法定点検実施状況の例



トンネル本体に浮き及びひび割れが生じている箇所の例

2 道路法面対策事業



（県）静岡焼津線（駿河区石部）



海岸沿いの浸食・風化した法面の崩壊を防止するため、法面崩壊対策を実施する

5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

【新規】

感震ブレーカー設置費助成

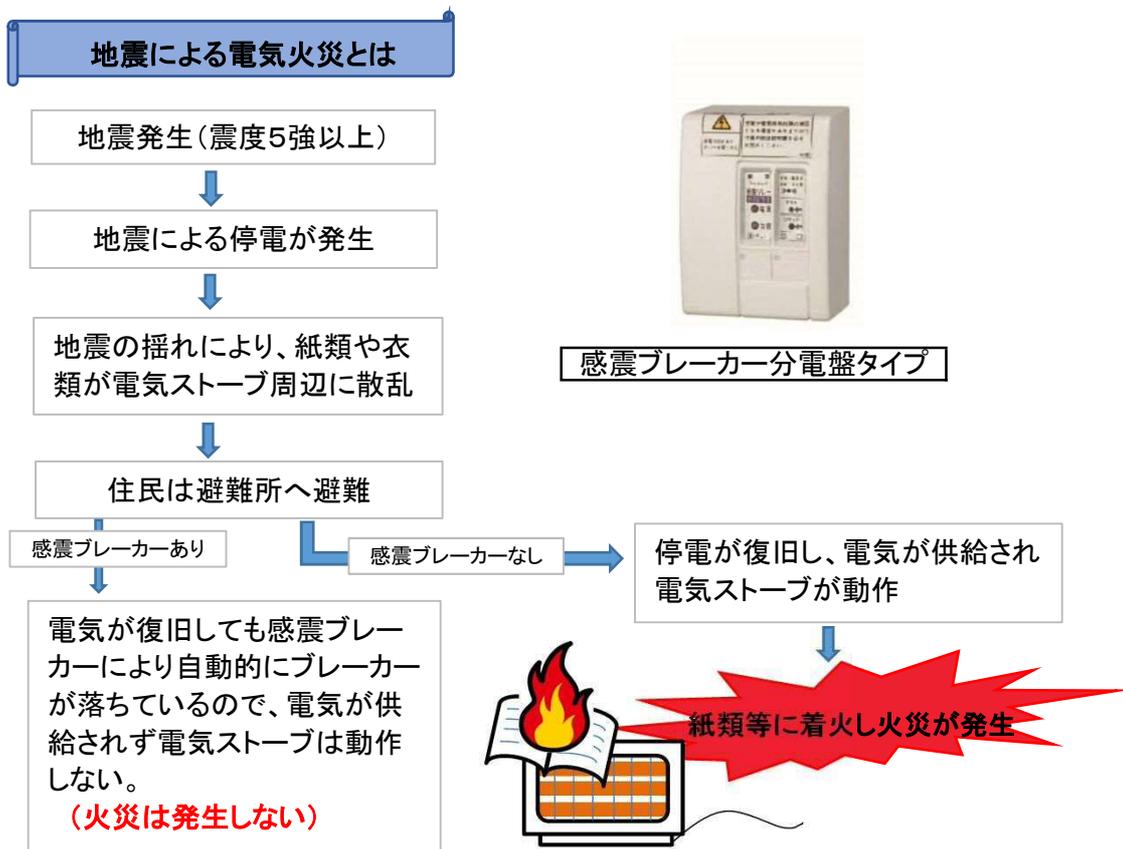
総務局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/3)	市債	その他	
当初予算額	30,000	10,000			20,000
前年度予算額					

目的	大規模地震発生時における電気火災を原因とした火災による延焼火災の発生を防止し、「安心・安全に暮らせるまちづくり」を推進するため、「感震ブレーカー」設置を行う木造住宅を所有または居住している世帯に対して助成。
----	---

事業概要	<p>○事業概要 「感震ブレーカー」の設置を行う世帯に対して助成 延焼火災へと至る可能性が高い木造住宅において地震発生時の通電火災を防止するため、震度5強以上の揺れを感知し自動的にブレーカーを落として電力供給を遮断する。</p> <p>○対象世帯 静岡市内において、木造住宅を所有または居住している世帯</p> <p>○補助率、補助対象事業等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助対象機器 感震ブレーカー分電盤タイプ ・補助金額 設置費用の3分の2（上限2万5千円） 新築の場合は一律1万円
------	---



3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

5 防災都市	様々な危機に備えた減災力が高い安心・安全なまちづくりの推進
5-②	浸水・土砂災害対策の拡充

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成29年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
浸水災害対策									
1	建設局 上下水道局	河川課 下水道計画課 下水道建設課	継続	浸水対策推進プラン	ハード ソフト	4,197,652		165	109 152
土砂災害対策									
2	建設局	建設政策課	継続	急傾斜地崩壊対策事業費に関する負担金	ハード	55,000		-	109
3	建設局	建設政策課	継続	急傾斜地崩壊対策事業	ハード	18,000		166	109
その他									
4	都市局	公園整備課	継続	土砂災害等防止対策事業(公園)	ハード	184,400		167	105
計						4,455,052			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成28年度当初予算額 2,627,360

5 防災都市 ②浸水・土砂災害対策の拡充

浸水対策推進プラン

建設局・上下水道局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源、 損益勘定留保 資金
		国・県支出金 (1/2、5.5/10)	市債、企業債	その他	
当初予算額	4,197,652	1,366,250	2,731,750		99,652
前年度予算額	2,514,673	899,000	1,445,680		169,993

目的	ゲリラ豪雨や台風に強いまちを実現し、市民の大切な生命と財産を守る。
----	-----------------------------------

事業概要	1 河川事業 136,000千円 ○河川改修工事の実施 ・大内川、和田川 (清1 押切、石川新町地区) ・準用河川谷津沢川 (清15 馬走地区)
	2 下水道事業 4,061,652千円 ○雨水ポンプ場、雨水幹線などの整備 ・高橋雨水ポンプ場建設 (清2 高橋2・3丁目、飯田町地区) ・広野2号雨水幹線築造工事 (駿6 広野地区) ほか

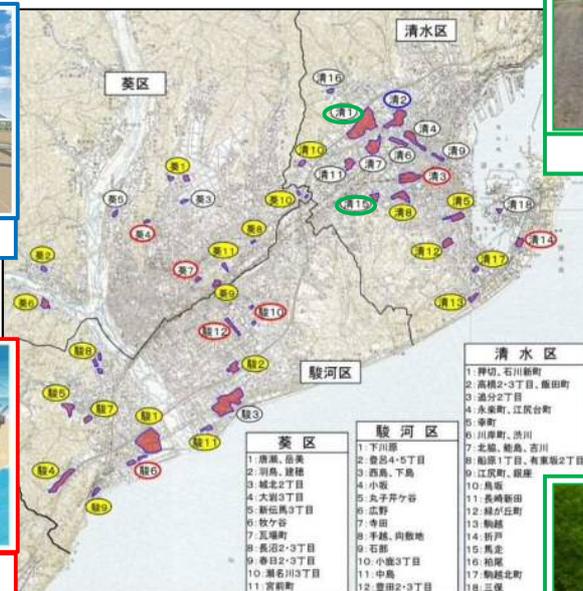
【浸水対策推進プラン 事業実施予定箇所図】



【清2】高橋雨水ポンプ場



【駿6】広野2号雨水幹線



【清1】大内川、和田川



【清15】準用河川谷津沢川

平成29年度実施予定箇所 (河川:2地区、下水:8地区)	
○	: 河川改修工事 (2地区)
●	: 雨水ポンプ場整備 (1地区)
●	: 雨水幹線等整備 (7地区)
●	: 完了地区 (H27末 18地区、H28見込み 3地区)

5 防災都市 ②浸水・土砂災害対策の拡充

急傾斜地崩壊対策事業

建設局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	18,000				18,000
前年度予算額	68,000		40,000		28,000

目的	急傾斜地の崩壊による災害から市民の生命を守るため、急傾斜地崩壊対策事業を実施し、災害の未然防止を図る。
----	---



事業概要	<p>「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」に基づき実施する事業</p> <p>1 県の対策工事を促進するための測量 8,000千円 ○県が急傾斜地崩壊危険区域を指定するために必要な測量業務</p> <p>2 既成宅地防災施設設置費助成制度 10,000千円 ○保全人家4戸以下の危険箇所に住する住民が行う土砂災害防止施設の設置費用を助成</p>
------	---

既成宅地防災施設設置費助成制度の実施例(H27施工箇所: 葵区有永)



着手前



完成後

5 防災都市 ②浸水・土砂災害対策の拡充

土砂災害等防止対策事業（公園）

都市局

（千円）

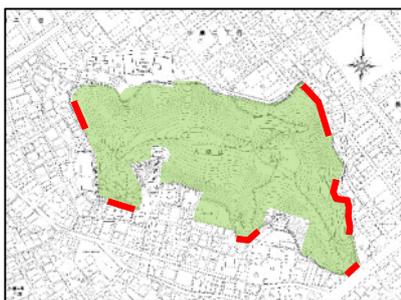
	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	184,400		184,400		
前年度予算額	99,800		99,800		

目的	公園内の斜面の崩壊による周辺家屋への土砂災害を防止するため、土砂崩壊対策施設を整備。
----	--

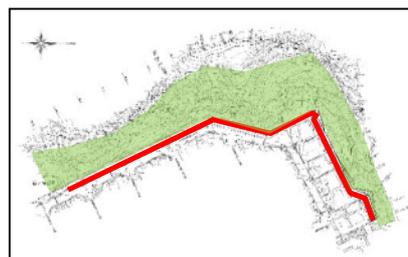


事業概要	土砂災害による被害を防止し、都市の安全性を向上
	<p>整備内容 土砂災害対策施設整備</p> <p>1 八幡山公園 93,400千円 ○整備延長約300m ○駿河区八幡山地内 ○事業期間 平成24年度～30年度</p> <p>2 西ノ谷公園 91,000千円 ○整備延長約310m ○清水区草薙地内 ○事業期間 平成26年度～32年度</p>

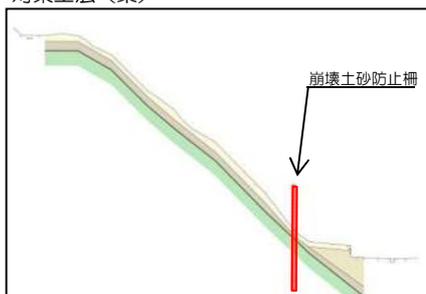
八幡山公園 対策予定箇所平面図



西ノ谷公園 対策予定箇所平面図



対策工法（案）



対策工事イメージ



3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

5 防災都市	様々な危機に備えた減災力が高い安心・安全なまちづくりの推進
5-③	再生可能エネルギーの導入・普及促進

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成29年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
再生可能エネルギーの導入・普及促進									
1	環境局	環境創造課	拡充	地球温暖化対策普及啓発事業	ソフト	11,500		169	67
2	環境局	環境創造課	継続	中小企業者向け省エネルギー対策支援事業	ソフト	3,000		-	67
3	環境局	環境創造課	継続	エコアクション21取得事業者支援事業	ソフト	450		-	67
4	環境局	環境創造課	継続	中小企業者向け省エネアドバイザー派遣事業	ソフト	450		-	67
静岡型水素タウン構想に向けた取り組み									
5	環境局	環境創造課	拡充	★静岡型水素タウン促進事業	ソフト	9,966		170	67
計						25,366			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成28年度当初予算額 111,709

5 防災都市 ③再生可能エネルギーの導入普及促進

地球温暖化対策普及啓発事業

環境局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	11,500			10,000	1,500
前年度予算額	1,500				1,500

目的	地球温暖化防止のための取組みを多くの人々が家庭、学校、会社など様々な場面で行うことができるよう、普及啓発活動を実施。
----	--



事業概要	<p>CO2排出量削減のため、より多くの市民に温暖化防止省エネへの取組みの意識醸成を図るため、普及啓発活動を実施</p> <p>1 国民運動「COOL CHOICE」の普及啓発 10,000千円 ○事業者との協働によるCOOL CHOICEのPR活動</p> <p>2 静岡市次世代エネルギーパーク関連施設等を活用した普及啓発活動 1,500千円 ①日本平動物園での環境学習イベント ②事業者と連携した省エネキャンペーンイベント</p>
------	--

平成28年度 事業例

【スポーツを通じたCOOL CHOICEの普及啓発】



エスパルスホームゲームでPR



選手学校訪問で啓発本を配付



キャンドルで市民の方々に呼びかけ

【市内各所における温暖化対策啓発】



日本平動物園で環境学習プログラムの実施



ショッピングセンターで省エネを呼びかけ

5 防災都市 ③再生可能エネルギーの導入普及促進

【拡充】

静岡型水素タウン促進事業

環境局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	9,966			2,020	7,946
前年度予算額	101,959				101,959

目的	<p>本市の地域特性を踏まえた水素エネルギーの先駆的な利活用を図り、水素エネルギーの需要拡大に向けた取り組みを促進する。 また、他都市にも水平展開可能な人口減少対策に資する魅力的なまちづくり「静岡型水素タウン」を推進する。</p>
----	---

事業概要	<p>1 静岡市水素エネルギー利活用促進協議会の運営 576千円 水素エネルギーに関する知見を有した学識経験者、企業等で構成した同協議会を運営するための経費</p> <p>2 「静岡型水素タウン」普及啓発活動経費 新規 9,390千円 ①燃料電池自動車の導入 ②情報発信、普及啓発イベント</p>
------	---



水素エネルギーの理解促進

画像提供：静岡トヨタ自動車(株) 画像提供：本田技研工業(株)

- 燃料電池自動車を活用した普及啓発
- 水素エネルギーに関する情報発信

官民連携による実証事業

静岡型水素タウンの実現に向けた包括連携協定締結
(平成28年11月2日)

- 水素需要創出に向けた技術開発促進

**水素需要の拡大を図り
「静岡型水素タウン」を推進**

共生都市

<プロジェクトの目標>

あらゆる人々が**多様な個性**
を尊重し
互いに支え合い
自然を愛し、共に暮らす
まちづくりの推進



<成果目標>

「障がい者や高齢者にやさしいまち」だと
思っている市民の割合(市民意識調査)

そう思う 42%(H27) → **70%(H34)**

「静岡市のために、何か役に立ちたい」と
思っている市民の割合(市民意識調査)

そう思う 70%(H27) → **80%(H34)**

①多様な人々による共生

市民局、総務局、企画局、観光交流文化局、保健福祉長寿局
子ども未来局、経済局、都市局、建設局、教育局

実現すべき将来像

○家康公の駿府大御所時代より継承されている異なる価値観を受け入れることができる潜在的な市民性と風土を活かしながら、多様性を社会の豊かさと捉え、地域の活力につなげることで、お互いの違いを認め合い、だれもが安心して暮らせる共生都市の実現

課題と対応策

「多様な人々による共生」では、異文化コミュニケーション体験フェアをはじめ関連事業は順調に推移しているが、「しずおか女子きらっ☆プロジェクト」では、経済界の女性活躍の取組をどう推進するかという課題がある。そこで、平成29年度も啓発事業を継続するとともに女性が一層活躍するための支援事業に取り組む。

平成29年度の取組

○英語を活用したコミュニケーション向上プロジェクトでは、平成29年度は外国語指導助手を7名増員し、小中学校の外国語授業におけるネイティブな英語に触れる機会の向上を図る。

○「しずおか女子きらっ☆プロジェクト」では、企業向けセミナーの開催やアドバイザーの派遣など、女性活躍推進計画に沿った取組を進める。

○地域住民が主体となり、地域で交通弱者の日常生活を支える移動手段を確保するため、地域交通弱者対策事業費補助を実施する。

多文化共生・国際交流の推進

男女共同参画の推進



英語を活用したコミュニケーション向上プロジェクト(教育局)【205,826千円】



「しずおか女子きらっ☆」プロジェクト(市民局ほか)【18,786千円】

心のバリアフリーの推進



地域交通弱者対策事業費助成(都市局)【6,600千円】

②南アルプスユネスコエコパーク・自然との共生

環境局、企画局、市民局、観光交流文化局
経済局、都市局、建設局、教育局

実現すべき将来像

- 豊かな自然環境・生態系を維持
- モニタリングを継続的に実施するとともに、自然を守る人材、地域の核となる人材を育成
- 地域団体、企業、行政の連携を図り、地域資源を磨き上げ、地域振興の取組を推進

課題と対応策

「南アルプスユネスコエコパーク・自然との共生」では、南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画に基づき、南アルプス周辺登山道整備事業をはじめ関連事業は順調に推移している。

しかし、登録地域内における、中央新幹線建設事業を含む様々な要因が、自然環境へ影響を及ぼす可能性がある。そこで、平成29年度も引き続き環境調査を継続するとともに、同計画に基づき、総合的に取り組む。

平成29年度の取組

○南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画の実行計画に基づき平成29年度も引き続き事業を実施する。

また、登録地域内において、環境調査を継続して実施する。

○南アルプス周辺登山道整備事業では、登山者の安全を確保し、山岳事故の減少を図るため、平成29年度も引き続き事業を実施する。

○麻機遊水地関連事業(第1工区)では、公園施設整備工事、建築物実施設計を実施する。

南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画の推進



南アルプスユネスコエコパーク
管理運営計画推進事業
(環境局)【25,702千円】

里地・里山の機能保全



南アルプス周辺登山道整備事業
(経済局)【110,000千円】

麻機遊水地関連事業(第1工区)
(都市局)【100,000千円】

③まちづくりは人づくり・シチズンシップ

市民局、企画局、各区役所、観光交流文化局、環境局
保健福祉長寿局、子ども未来局、経済局、都市局、建設局、教育局

実現すべき将来像

- 市民と行政との協働によるまちづくりを担うシチズンシップに富んだ人材の養成

課題と対応策

「まちづくりは人づくり・シチズンシップ」では、「静岡シチズンカレッジこ・こ・に」推進事業をはじめ関連事業は順調に推移しているが、育成した人材のフォローや市民が活動できる場の情報提供等が課題である。

そこで、平成29年度は修了生や市民が、積極的にまちづくりに関わることができる仕組みとして、(仮称)市民活動支援システムを構築する。

また、地域の次世代を担う人材を地域の中で育むため、本市の高等教育に関するあり方について検討を進めていく。

平成29年度の取組

○「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」推進事業では、新たな講座を加え、学びの場の充実を図るとともに、市民向け案内を拡充することで、より一層、「こ・こ・に」の認知度を高める。

○市民協働を一層推進するため、「こ・こ・に」修了生のまちづくりへの参加を支援するとともに、市民に対し、NPO活動等の様々な情報を提供し、理解を得るため、(仮称)市民活動支援システムを構築する。

○地域の次世代を担う人材を地域の中で育むため、本市の高等教育に関するあり方について検討を進める。

人をつくる仕組の推進



「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」
推進事業(市民局ほか)【23,856千円】

高等教育のあり方検討事業
(企画局)【3,076千円】

人を活かす仕組の推進



「(仮称)市民活動支援システム」構
築事業(市民局)【18,738千円】

3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

6 共生都市	あらゆる人々が多様性を尊重し共に暮らすまちづくりの推進
6-①	多様な人々による共生

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成29年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
多文化共生・国際交流の推進									
1	観光交流文化局	MICE・国際課	継続	海外姉妹都市等交流事業	ソフト	8,121		—	59
2	市民局	男女参画・多文化 共生課	継続	異文化コミュニケーション体験フェア等 (多文化共生啓発事業)	ソフト	1,600		—	52
3	子ども未来局	青少年育成課	継続	青少年国際親善交流事業	ソフト	206		—	81
4	教育局	教育センター	継続	教職員研修事業(教職員海外派遣研修)	ソフト	1,147		—	120
6	教育局	教育総務課 学校教育課 教育センター	拡充	英語を活用したコミュニケーション向上プロジェクト	ソフト	205,826		175	116 121
男女共同参画の推進									
7	市民局 ほか関係局	男女参画・多文化 共生課 ほか関係課	継続	「しずおか女子きらっ☆」プロジェクト ・女性の活躍促進事業(メンターカフェの開催等) ・女子学生と女性社員によるUIターン促進交流 会 ・「ママきらっ☆カフェ」の開催 ほか	ソフト	18,786		176	52 89 109
心のバリアフリーの推進									
8	保健福祉長寿局	精神保健福祉課	継続	★精神障害者地域移行支援事業	ソフト	15,021		—	79
9	保健福祉長寿局	障害者福祉課	拡充	障害者就労支援事業	ソフト	2,292		—	71
10	保健福祉長寿局	障害者福祉課	継続	心のバリアフリーイベント (地域生活支援事業)	ソフト	1,400		—	72
11	都市局	交通政策課	継続	地域交通弱者対策事業費助成	ソフト	6,600		177	101
計						260,999			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成28年度当初予算額 1,528,480

6 共生都市 ①多様な人々による共生

【拡充】

英語を活用したコミュニケーション向上プロジェクト

教育局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	205,826	23,701		13,117	169,008
前年度予算額	183,364			9,764	173,600

目的	国際都市「静岡」を生きるグローバルな（グローバルな視点を持ち、ローカルに貢献し、活躍する）子どもたちを育てる。
----	---

事業概要	<p>1 英語授業の充実 205,671千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校3・4年生の外国語活動を数校で実践研究 新規 ・ALTを中学校区に1名ずつ配置し、英語に触れる場や実践的コミュニケーション授業を展開 拡充 ・英語授業づくり研修（全5回） 新規 ・県外視察研修（先進校） 新規 <p>2 教員の英語力の向上 新規</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダー研修や海外派遣研修などにより、中核教員を養成 ・教員向け「イングリッシュ・セミナー」の実施 <p>3 英語を体験・活用する場の提供 新規 155千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イングリッシュ・キャンプの実施 夏休み2泊3日の英語漬けキャンプ 対象：小学校5年生～中学校2年生 ・イングリッシュ・カフェの実施 カフェ形式の英語交流活動 <p>プロジェクトチームを立ち上げ、進行管理、小中学校への周知指導に取り組む。</p>
------	--



これからの小学校外国語教育の在り方やICTを活用した英語授業について研修を実施す

6 共生都市 ① 多様な人々による共生

「しずおか女子きらっ☆」プロジェクト

市民局ほか

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 8/10	市債	その他	
当初予算額	18,786	5,564			13,222
前年度予算額	18,996	6,476			12,520

目的	女性の“活躍したい”希望がかなうまちを目指して、官民挙げて取り組み、その取組を広く静岡市で働きたい女性、静岡市で暮らしたい女性に訴求することにより、誰もが活躍できるまちを実現し、地域経済・社会の持続的成長を図る。
----	--

事業概要	<p>1 「静岡市で働きたい」を応援 16,846千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○気運の醸成 <ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウムの開催、官民連携会議の開催 ○企業の取組への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・女性活躍好事例の紹介 ・企業セミナーの開催 ・アドバイザーの派遣 ○活躍したい女性への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・メンターカフェの開催
	<p>2 「静岡市で暮らしたい」を応援 1,940千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○UIターンを希望する学生への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏の女子学生と市内企業で活躍する女性との交流会 ○子育て中・育休中ママへのスキルアップ支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ママきらっ☆カフェの開催 <p>※本プロジェクトは、関係6局（総務局、企画局、市民局、子ども未来局、経済局、建設局）が連携して取り組みます。</p>



しずおか女子きらっ☆

プロジェクト

先輩女性に
直接会って
アドバイスが
もらえる！

有識者の講話や
先進企業のパネル
ディスカッション！



女子きらっ☆メンターカフェ



しずおか女子きらっ☆
シンポジウム

女性の活躍を
応援します！



6 共生都市 ①多様な人々による共生

地域交通弱者対策事業費助成

都市局

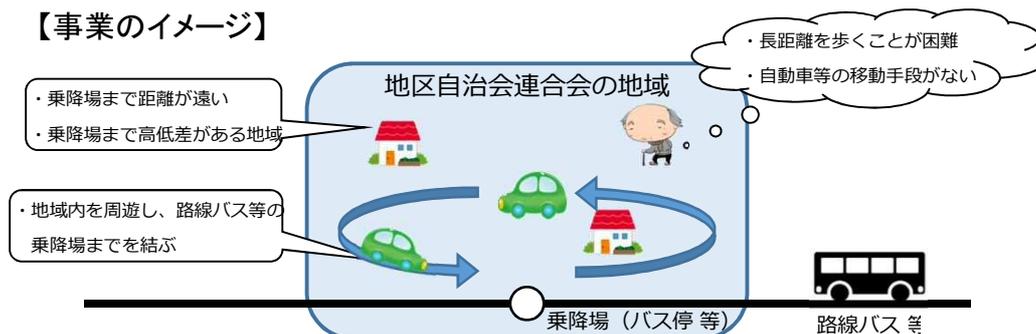
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	6,600				6,600
前年度予算額	8,000				8,000

目的	地域住民が主体となり、地域で交通弱者の日常生活を支える移動手段を確保することにより、地域に相応しい持続可能な地域交通の実現及び地域の活性化を図る。
----	---

事業概要	<p>○事業内容 長距離を歩くことが困難、又は自動車等の移動手段を持たない、持てない、運転できないといった交通弱者の日常生活を支える移動手段を確保するため、住民が主体となった地域組織の取り組みを支援（3年間で試行期間とするモデル事業。）</p> <p>○助成の条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利用が困難（距離、高低差）な地域であること。 ・運行の範囲が地区自治会連合会等の地域内であること。 ・駐車場や運転者の確保等の地域負担ができること。 ・路線バス等の公共交通の乗降場と結節すること。等 <p>○補助対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成の条件を満たす地区自治会連合会等 <p>○期待される効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活における移動の円滑化による交通弱者の外出機会の創出 ・地域コミュニティの形成、振興や活力、魅力の向上 ・基幹公共交通利用者の増加 等 <p>○平成29年度の補助対象経費、補助率</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車両リース代 対象経費の10分の10～9（上限1,000千円） ・運送経費（ガソリン代等） 対象経費の10分の10～7.5（上限1,000千円） <p>○平成29年度の助成内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4地区（駒越地区、長田西地区、新規地区2地区想定）
------	---

【事業のイメージ】



3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

6 共生都市	あらゆる人々が多様性を尊重し共に暮らすまちづくりの推進
6-②	南アルプスユネスコエコパーク・自然との共生

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成29年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画の推進									
1	経済局	中山間地振興課	拡充	★南アルプス周辺登山道整備事業	ハード	110,000		179	98
2	環境局	環境創造課	継続	南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業	ソフト	25,702		180	67
3	教育局	教育総務課	継続	南アルプスユネスコエコパーク 井川自然の家活用事業	ソフト	2,000		-	116
4	経済局	治山林道課	継続	井川地区林道管理及び東俣線ゲート管理	ハード	76,092		-	93
5	都市局	交通政策課	継続	井川地区自主運行バス運行事業	ソフト	33,766		-	100
6	市民局	井川支所	継続	井川湖渡船運営事業	ソフト	22,539		-	55
7	経済局	中山間地振興課	拡充	★地域おこし協力隊配置事業	ソフト	29,976		77	98
8	経済局	中山間地振興課	継続	★中山間地移住促進事業	ソフト	11,258		-	96
9	経済局	中山間地振興課	継続	★オクシズ在来作物活用事業	ソフト	5,000		-	96
都市の里地・里山機能の保全									
10	経済局	中山間地振興課	拡充	野生鳥獣被害対策事業	ソフト	126,741		-	97
11	都市局	緑地政策課 公園整備課	継続	麻機遊水地関連事業(第1工区)	ハード	100,000		181	104
12	都市局	緑地政策課	拡充	麻機遊水地関連事業 (麻機遊水池保全活用推進協議会負担金ほか)	ハード ソフト	14,450		181	104
13	環境局	環境創造課	継続	放任竹林対策事業	ソフト	13,672		182	67
計						571,196			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成28年度当初予算額

632,998



6 共生都市 ②南アルプスユネスコエコパーク・自然との共生

【拡充】

南アルプス周辺登山道整備事業

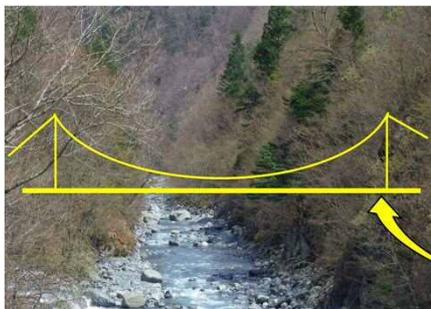
経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	110,000		67,500		42,500
前年度予算額	55,000				55,000

目的	昨今の登山ブームに加え、南アルプスユネスコエコパーク登録により南アルプスへの登山客の大幅な増加が見込まれるため、登山道の整備を実施し入山者の安全を図る。
----	--

事業概要	1 新規登山道開設 新規 ○千枚岳登山ルート ・吊り橋の設置	90,000千円
	2 登山道修繕 ○畑薙大吊橋～茶臼岳ルート他	20,000千円



架橋予定地



現況登山道



登山道崩壊地

6 共生都市 ②南アルプスユネスコエコパーク・自然との共生

南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業 環境局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	25,702				25,702
前年度予算額	59,996				59,996

目的	ユネスコエコパークの理念「自然と人間社会の共生」に基づき、南アルプスの豊かな自然環境を守り、活用し、その魅力や価値を世界に発信させ、地域の持続的な発展を目指す。
----	--

事業概要	<p>南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画（静岡市域版）及び同実行計画に基づく事業を推進</p> <p>1 自然環境の保全 5,757千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高山植物保護 <ul style="list-style-type: none"> ・防鹿柵の設置 ○ライチョウ保護 <ul style="list-style-type: none"> ・調査、ライチョウサポーターの養成 <p>2 調査と教育 11,788千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高山植物保護セミナー ○南アルプス環境調査 <ul style="list-style-type: none"> ・希少動植物調査 <p>3 地域の持続的な発展 4,057千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○情報発信、普及啓発
------	--



防鹿柵設置（中岳避難小屋周辺）



南アルプス南部（静岡市域内）
ライチョウ生息域内状況把握調査



ライチョウサポーター養成講座
（静岡会場・首都圏会場）



高山植物保護セミナー
（千枚岳）



希少動植物調査



中京圏最大山岳関連イベント
出展PR（名古屋市）

6 共生都市 ②南アルプスユネスコエコパーク・自然との共生

【拡充】

麻機遊水地関連事業

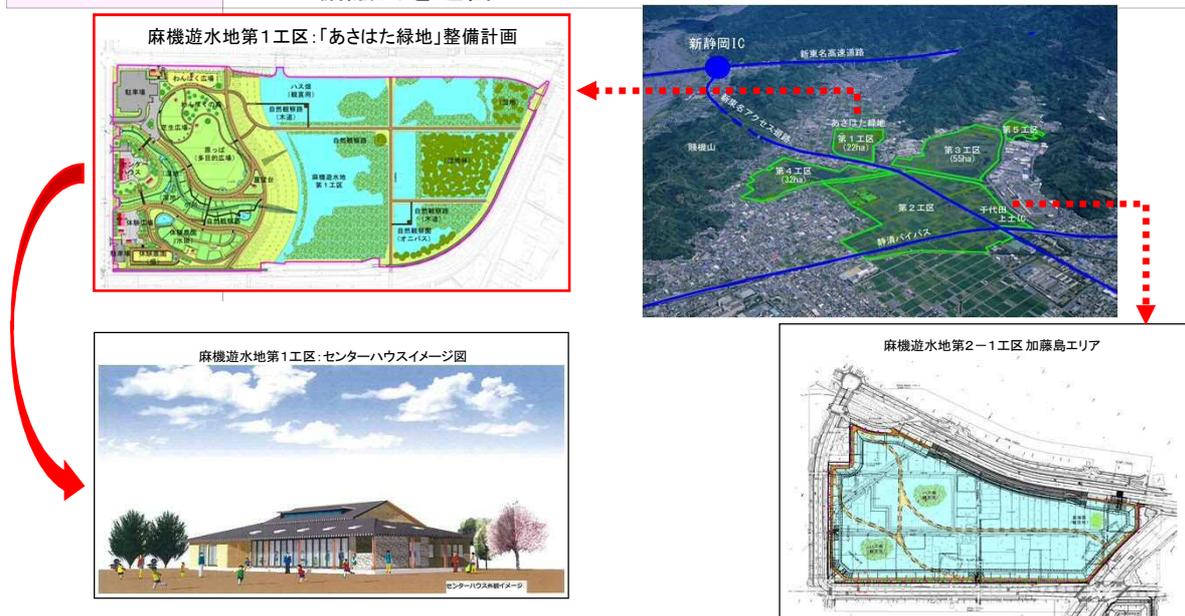
都市局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	114,450	50,000	45,900		18,550
前年度予算額	126,596	60,000	54,000		12,596

目的	麻機遊水地の治水機能を確保しつつ、地域の自然環境や立地特性を活かした自立発展型の地域活性化を目指すため、自然再生型緑地の整備等を行い、自然を通じた体験・交流・憩いの場の創出を図る。
----	--

事業概要	1 あさはた緑地整備事業(第1工区) 100,000千円 ○事業内容 ・麻機遊水地第1工区内の冠水頻度の低い区域約6haの公園的整備(小川や自然体験広場、農業体験広場、拠点となるセンターハウス等の整備) ○事業期間 平成22年度～平成32年度 ○平成29年度事業内容 ・駐車場や園路などの公園施設の整備、センターハウスの実施設計
	2 浅畑緑地(第3工区)基本計画策定業務 新規 6,200千円 ○事業内容 ・麻機遊水地第3工区内の冠水頻度の低い区域約15haの公園計画策定
	3 河川海岸環境整備事業負担金 新規 1,250千円 ○事業内容 ・麻機遊水地第2-1工区加藤島エリアの緑道計画策定
	4 麻機遊水地保全活用推進協議会負担金 7,000千円 ○事業内容 ・麻機遊水地の自然再生と利活用を両輪とした取組を進めるために協議会を運営



6 共生都市 ②南アルプスユネスコエコパーク・自然との共生

放任竹林対策事業

環境局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	13,672				13,672
前年度予算額	12,572				12,572

目的	放任竹林の増加により里山の荒廃が進み、景観の悪化、生物多様性の低下などの原因となっているため、放任竹林対策を推進し、里山環境の保全を図る。
----	---



事業概要	<p>市民団体による里山保全活動を支援するとともに、竹林伐採の業務委託により、放任竹林対策を図る。</p> <p>1 里山保全団体の支援・育成 6,900千円 ○補助金の交付 ○消耗品等の支給 ○竹破碎機の購入 2台</p> <p>2 里山整備竹林対策事業ほか 6,772千円 ○竹林伐採業務委託</p>
------	--



里山保全団体の活動風景



竹破碎機貸出



伐採委託



委託伐採後の整備風景

3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

6 共生都市	あらゆる人々が多様性を尊重し共に暮らすまちづくりの推進
6-③	まちづくりは人づくり・シチズンシップ

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成29年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ	
人をつくる仕組みの推進										
1	企画局	企画課	継続	高等教育のあり方検討推進事業	ソフト	3,076	③教育文化	185	48	
2	市民局 ほか関係局	生涯学習推進課 ほか関係課	拡充	「静岡シチズンカレッジ コ・コ・に」推進事業	ソフト	23,856	③教育文化	186	52 60 62 92	
人を活かす仕組みの推進										
3	市民局	市民自治推進課	新規	「(仮称)市民活動支援システム」構築事業	ソフト	18,738	③教育文化	187	52	
4	企画局	企画課	継続	大学連携による地域課題解決事業	ソフト	12,000		188	48	
5	経済局	商業労政課	新規	大学等と連携した商店街活性化事業	ソフト	1,200		189	90	
6	市民局	市民自治推進課	継続	市民活動促進事業「協働パイロット事業」	ソフト	2,879		-	52	
7	市民局	市民自治推進課	継続	市民活動促進イベント 「市民活動プレビューinShizuoka2017」	ソフト	1,000		-	52	
人を支える基盤づくり										
8	都市局	清水駅周辺整備課	継続	★草薙駅周辺整備事業(南北駅前広場整備等)	ハード	647,616	③教育文化	57	103	
9	都市局 建設局	清水駅周辺整備課 道路計画課	拡充	★草薙駅周辺整備事業(周辺道路整備)	ハード	235,000	③教育文化	58	103 110	
10	都市局	都市計画課	新規	★JR草薙駅北口周辺交通環境改善調査事業	ソフト	15,000	③教育文化	59	100	
12	都市局	都市計画課	新規	★JR草薙駅北口周辺土地利用計画 (用途地域等)見直し事業	ソフト	2,500	③教育文化	59	99	
11	都市局	清水駅周辺整備課	継続	★草薙駅周辺エアーマネジメント支援事業	ソフト	3,000	③教育文化	60	104	
13	市民局 子ども未来局	生涯学習推進課 子ども未来課	継続	★生涯学習交流館建設事業(児童館含む)	ハード	149,350		190	53 81	
地域コミュニティの強化										
14	市民局	生活安心安全課	新規	街頭防犯カメラ設置費助成	ソフト	3,000		191	53	
						1,118,215				

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成28年度当初予算額 584,789

6 共生都市 ③まちづくりは人づくり・シチズンシップ

高等教育のあり方検討推進事業

企画局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	3,076				3,076
前年度予算額	3,780				3,780

目的	地域振興、地方創生の礎として、若者中心の学びの場、社会人の学び直しの場、高齢者の生涯学習の場など、多様な視点により整理・分析し、大学の誘致、市立大学の設置なども視野に入れながら、本市に求められる高等教育のあり方を検討。
----	---



事業概要	<p>若者中心の学びの場という視点と社会人の学び直しなど、多様な学びの場という視点の両面から、大学の誘致、市立大学の設置なども視野に入れながら、有識者や専門人材などによる検討の場を設置して、これまでの調査結果、ヒアリングを踏まえた高等教育のあり方について議論を進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高等教育のあり方検討委員会での検討 2 有識者等からの意見聴取等 3 補助調査の実施
------	---



H 2 8

⇒

H 2 9

基礎調査の実施	検討委員会の実施	(導き出される方向性)
<ul style="list-style-type: none"> ・高等教育をめぐる全国の動向 ・若者中心の学びの場 ・社会人の学び直しの場 ・高齢者等の生涯学習の場 ・本市に必要な学部・学科分析 	<p>基礎調査の結果を踏まえ検討委員会で検討を重ね、本市が取り組むべき方向性を導き出す。</p>	<p>(イメージ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存大学との連携強化 ・既存大学新学部学科支援 ・私立大学の誘致推進 ・市立大学の設置 など

6 共生都市 ③ まちづくりは人づくり・シチズンシップ

【拡充】

「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」推進事業

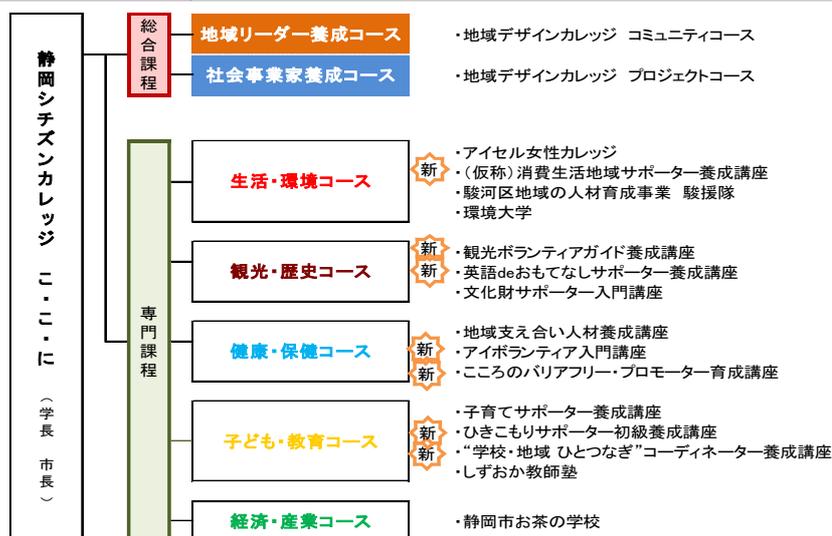
市民局ほか

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (10/10ほか)	市債	その他	
当初予算額	23,856	1,679		1,434	20,743
前年度予算額	19,707	60		1,089	18,558

目的	「まちづくりは人づくり」の意識のもと、「構想力」「行動力」「人間力」を兼ね備えた市民と行政との協働によるまちづくりを担うシチズンシップに富んだ人材を養成。
----	---

事業概要	<p>市関係各課で実施する人材養成事業をひとつに束ねた総合的な学び舎「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」を実施</p> <p>○総合課程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会事業家や地域リーダーを養成する講座 ・講座数 2講座 ・募集定員 60人 <p>○専門課程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉や環境などの分野別の講座 ・講座数 15講座 (H28 8講座) 拡充 ・募集定員 380人 (H28 300人) 拡充 <p>共通の方針や仕組みを整備することで一体的に人材養成を実施</p> <p>○主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全講座を紹介するパンフレットの作成 ・他講座を聴講できる公開講座の実施 ・修了生が一堂に集う交流会の開催 ・静岡まちづくりマスターの認定
------	---



地域デザインカレッジ2016コミュニティコース



文化財サポーター入門講座



環境大学

6 共生都市 ③ まちづくりは人づくり・シチズンシップ

【新規】

「（仮称）市民活動支援システム」構築事業

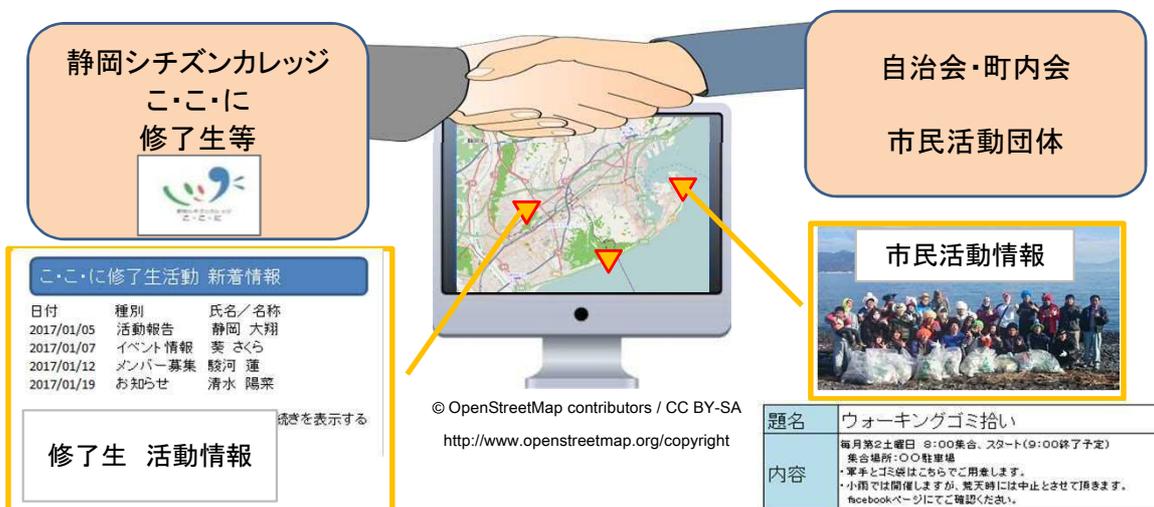
市民局

（千円）

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	18,738				18,738
前年度予算額	195				195

目的	「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」修了生を地域活動に活かすとともに、市民が自分の住む地域を知り、積極的にまちづくりに関わることができる仕組みを構築する。
----	---

事業概要	<p>1 システム構築 H29:システム構築 H30:運用開始 18,000千円</p> <p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」人材バンクの掲載 ・こ・こ・に修了生（以下、修了生）の活動情報の提供 ・市民活動情報の提供 <p>○特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修了生・市民活動団体等をまとめて検索できる！（分野別・地域別等） ・修了生及び市民活動団体等の活動情報がマッピング機能によりひと目で探すことができる！ ・連絡フォーム機能 <p>○効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修了生・市民活動団体等の活動内容の“見える化” ・修了生と市民活動団体等で双方の連絡が可能に！ <p>2 「対話の場づくり」事業 480千円</p> <p>○課題やテーマを設定し、修了生、市民活動団体、学生等異なる人々が集まり、解決に向けた対話の場を提供</p> <p>3 関連事業（システム運用開始までの修了生を活用する仕組み） 258千円</p> <p>○「出会いの場づくり」事業（修了生と他団体等とのマッチング）</p> <p>○活動情報発信事業（修了生の活動報告の冊子化）</p>
------	--



6 共生都市 ③まちづくりは人づくり・シチズンシップ

大学連携による地域課題解決事業

企画局

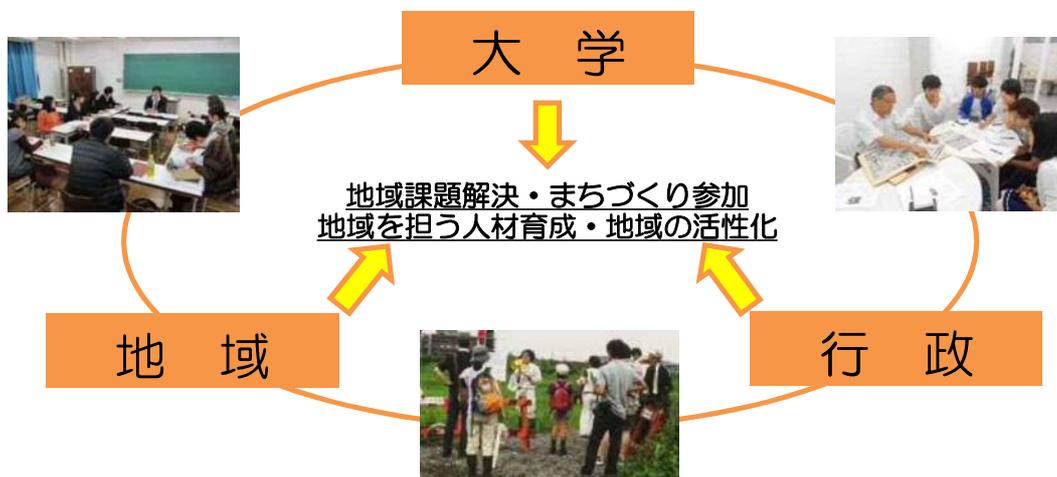
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	12,000				12,000
前年度予算額	10,000				10,000

目的	<p>市が抱える地域課題を大学に提供し、大学が地域（フィールド）に入り込んで、市と大学が連携してその解決を図っていく。これにより、地域課題の解決のみならず、地域で活躍できる人材、地域を担う人材の育成につながり、地域の活性化にも寄与する。</p> <p>なお、本事業は、静岡県中部5市2町連携事業である。</p>
----	---

事業概要	<p>市が抱える地域課題を、包括連携協定を締結する大学に提示し、大学からの申請に基づくマッチングにより、課題の解決を図っていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 大学の課題解決に向けた取組みへの支援 実践的な調査・研究を行う大学等（教員・学生等）が直接地域（フィールド）に入り込み、解決方策の調査や課題解決のための実践的な取組みを実施 <ul style="list-style-type: none"> 市が抱える地域課題抽出 大学向け「地域課題説明会」 連携申請・マッチング・採択 大学連携事業実施 研究成果発表会の実施 <p>※中部5市2町広域連携事業</p>
------	---

大学・行政・地域の連携のイメージ



6 共生都市 ③まちづくりは人づくり・シチズンシップ

【新規】

大学等と連携した商店街活性化事業

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	1,200				1,200
前年度予算額					

目的	大学・商店街・学生による連携体制の構築を支援することで、商店街をフィールドとした学生による恒常的な活動を創出し、もって賑わいの創出及び商業の魅力向上を図る。
----	--

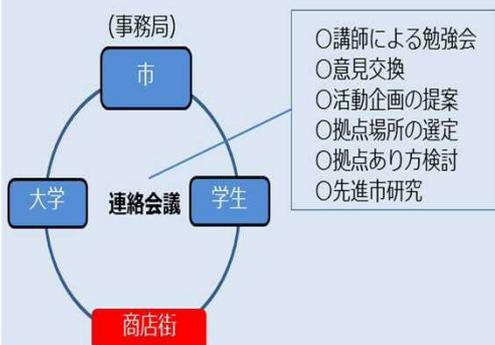
事業概要	<p>1 大学・学生・商店街間の連携体制構築事業 296千円 ○関係者により連絡会会議を立ち上げ、活動方針などの必要事項の協議検討や意見交換を実施する。</p> <p>2 商店街の店舗を活用した学生活動の見える化事業 904千円 ○市で商店街の店舗等を借用し、実験的に学生や大学に当該店舗をイベント等で利用させ、学生による商店街での活動の促進を図る。</p>
------	---

商店街に学生の活動拠点をつくることによる商店街活性化、にぎわい創出の実現

H29 事業 まずは、商店街の中で学生活動が行われることを実験的に仕掛け、商店街・大学等との連携体制の構築や意欲を高めた上、学生拠点整備を行うための「助走」事業

<大学×学生×商店街の連携体制づくり>

相互に顔が見える場を日常的に設け、相互の意見交換を通じ、連携体制を構築する。



<学生活動の実践（活動の見える化）>

市が商店街の空き店舗等を実験的に借上げ、大学・学生に提供し、学生等の活動を促進する。

【大学と連携した活動】（例）

- 〇商店街イベントの共同企画から実施までの準備拠点
- 〇地域課題解決のためのフィールドワーク拠点
- 〇各大学のサテライト授業の場
- 〇学生チャレンジショップ



【学生主体による活動】（例）

- 〇学生サークルの発表の場

H29の成果を踏まえ、商店街、大学等との連携体制を構築し、将来的に、商店街内の学生活動拠点づくりを目指す。

6 共生都市 ③ まちづくりは人づくり・シチズンシップ

生涯学習交流館建設事業(児童館含む)

市民局・子ども未来局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (4/10)	市債	その他	
当初予算額	149,350	48,000	87,600		13,750
前年度予算額	567,518	92,028	449,900		25,590

目的	<p>市民の自発的な学習活動を支援し、学習活動を通じて地域の交流や連携を深め、市民主体のまちづくり活動を推進する。 また、合築の児童館では児童に健全な遊びを与えて、健康の増進と情緒の推進を図る。</p>
----	---

事業概要	<p>1 小島生涯学習交流館 ○実施内容 ・既存施設解体工事等 29,300千円 ○施設概要 ・建設場所 清水区但沼町 ・構造 鉄骨造平屋建 ・延床面積 499.03㎡ ・供用開始 平成29年7月(予定)</p> <p>2 三保生涯学習交流館(児童館との複合施設) ○実施内容 ・建設工事 120,050千円 ○施設概要 ・建設場所 清水区三保 ・構造 鉄骨造2階建 ・延床面積 1,000㎡程度(交流館:730㎡程度 児童館:270㎡程度) ・供用開始 平成30年度(予定)</p>
------	--

◆小島生涯学習交流館完成予想図



子どものパン作り教室



防災講座

6 共生都市 ③ まちづくりは人づくり・シチズンシップ

【新規】

街頭防犯カメラ設置費助成

市民局

(千円)

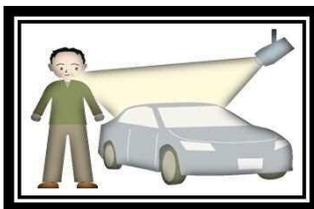
	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	3,000				3,000
前年度予算額					

目的	市民自らが行う防犯設備の整備を促進し、「みんなで取り組む地域防犯活動の推進」を図ることにより、安心して暮らすことができる安全な地域社会の実現を目指す。
----	---

事業概要	<p>○交付先 自治会、町内会及び地区安全会議</p> <p>○補助対象事業</p> <p>①街頭防犯カメラ、録画装置機器等の購入経費、設置工事経費</p> <p>②街頭防犯カメラの設置を示す看板製作経費、設置工事経費</p> <p>○補助率 10分の9</p> <p>○補助上限額 1台あたり30万円（1団体2台まで）</p>
------	--



しかし、市内の治安が回復していると感じている市民の割合:9%
(H25市政アンケート調査結果)



補助制度とあわせ「静岡市街頭防犯カメラの設置及び運用に関するガイドライン」により適切な管理及び運用を推進します。

街頭防犯カメラの設置の促進

犯罪抑止効果
事件の早期解決



補助の対象となる防犯カメラ

- ・犯罪の防止を目的とするもの
- ・特定の場所に継続的に設置されるもの
- ・特定の個人もしくは物が識別できる画像記録機能を有するもの

体感治安の向上
刑法犯認知件数の更なる減少



市民が安心・安全に暮らすことができる犯罪のない生活環境の整備